画地計測

― 操作マニュアル ―

Ver.1.0 2022/02/17
Ver.2.0 2023/07/03
Ver.3.0 2023/10/10
Ver.4.0 2024/12/11

neo GIS

目次

１　画地計測とは？ 3
２　安全のしくみ 3
３　ログイン（起動） 4
４　ログオフ（終了） 4
５　画面 4
６　メニュー 5
７　画地計測 6
　７－１　計測手順 6
　７－２　計測図面の読み込み 7
　７－３　複数の計測図面の読み込み 9
　７－４　縮尺概念の設定 10
　７－５　画地計測画面（簡易／詳細） 12
　７－６　画地図形の入力 13
　７－７　計測条件の設定 14
　７－８　計測実行 16
　　７－８－１　１点入力 16
　　７－８－２　３点入力 18
　　７－８－３　多点入力 19
　　７－８－４　無道路計測 20
　　７－８－５　計測値のクリア 21
　　７－８－６　ヘルプ（計測補助機能） 21
８　印刷 23
　８－１　印刷レイアウト 23
　８－２　印刷データの編集 24
　８－３　印刷 26
★★★★★ 26
以下は、画地計測のフルバージョンのみの機能です。「画地計測 mini」では使用できません。 26
★★★★★ 26
９．法務省登記所備付地図データを使用した計測 27
　９－１　地番検索 27
　９－２　筆情報 28
　９－３　計測 30
　９－４　メリット 30
１０．計測結果の保存 31
　１０－１　計測結果の保存 31
　１０－２　計測結果の読込 33

1　画地計測とは？

画地計測とは、自治体税務課様で土地の固定資産税を計算するために、対象土地の間口、奥行き等を計測するためのツールです。
画像（png、jpeg、gif）、または pdf 化された地積測量図等を使用して計測します。
手動計測では計測しにくい想定整形地、陰地割合等を簡単に計測可能です。

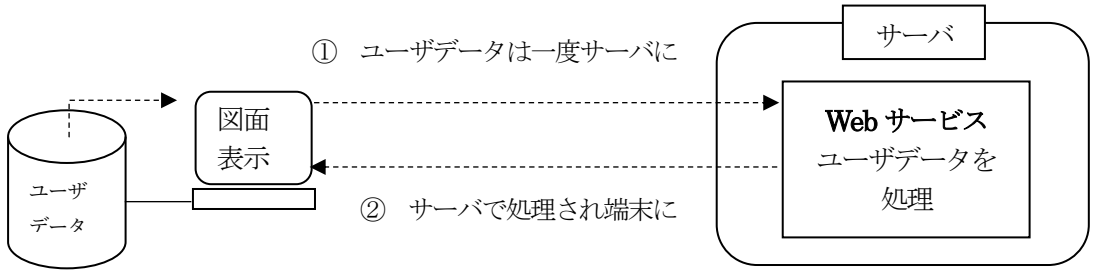
2023/07/03
法務省登記所備付地図データも地番検索で読み込み、計測できるようになりました。
これにより、地積測量図等をスキャン（画像化）しなくても、全国の筆を計測可能となりました。
ある意味、まったく別サービスとなりました。

2　安全のしくみ

インターネット経由のＡＳＰサービスでありながら、情報漏洩することなく安全に処理します。
個人情報を含む地積測量図を使用しても問題ありません。安全である理由を説明します。
それは、「ユーザのデータがインターネット上を流れない」（PCから外に出ない）ことによります。

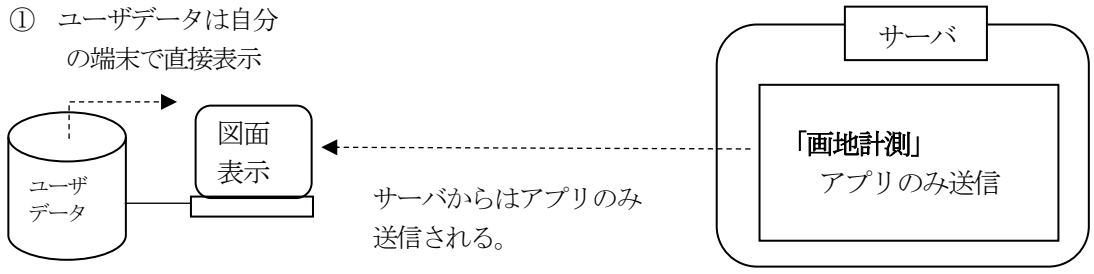
一般的なWebサービス

ユーザデータ（地積測量図）は一度サーバに送られ、サーバで処理され端末のブラウザに表示されます。
ユーザデータがネットワーク（インターネット等）上を流れることで、データの安全性の確保が難しくなります。ユーザデータをサーバに保存することもあります。これも安全性の確保は難しい。



「画地計測」

ユーザデータをサーバに送りません、データは自分の端末のブラウザ上で直接処理され表示されます。また、データをサーバに保存することもありません。
ユーザデータは、自分の端末から外に出ません。これによりデータの安全性は確保されます。



Web アプリは端末ローカルの
データにアクセスできない。

３　ログイン（起動）

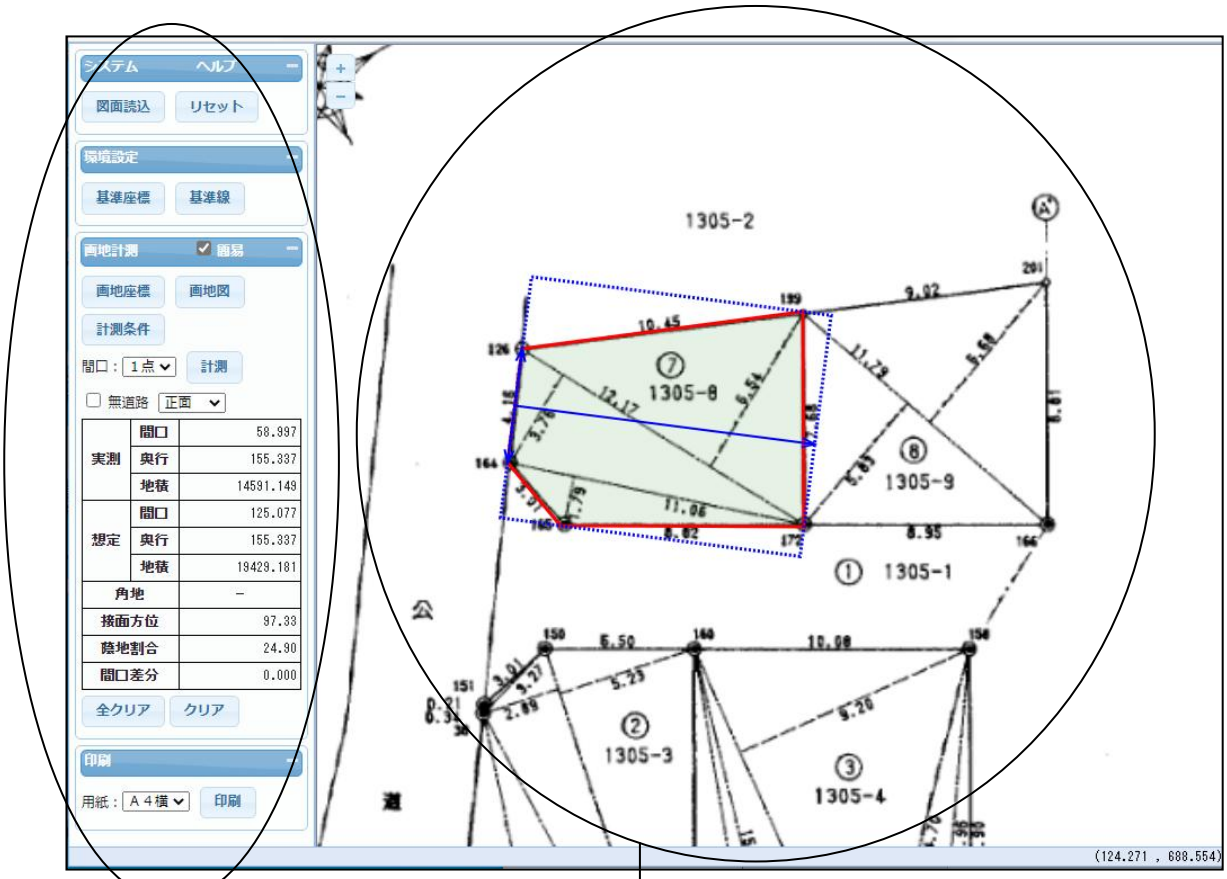
購入後、お客様のマイページより起動可能となります。

４　ログオフ（終了）

サービスを終了するには、そのままブラウザを閉じます。

５　画面

画面構成は以下となります。



メニューウィンドウ　　計測ウィンドウ

メニューウィンドウ：
　環境設定、画地計測、印刷の各種メニューが配置されています。

計測ウィンドウ：
　実際に画地計測を行うウィンドウです。

６　メニュー

メニューの概要を説明します。

システム

・ログアウト
　ログアウトしシステムを終了します。
・公図読込
　法務省登記所備付地図データを読み込みます。
・図面読込
　計測図面を読み込みます。
・リセット
　現在の計測結果をすべて消去します。

ヘルプ

計測ウィンドウにおける計測補助機能です。キーボードショートカットのヘルプウインドウを表示します。

環境設定

・基準座標
　計測の基準点を、座標によって入力します。
・基準線
　計測の基準線を、マウスによって入力します。

画地計測

・簡易
　チェックをはずすと、画地計測詳細ウィンドウを計測ウィンドウ下部に表示します。
・画地座標
　計測図形を座標で入力します。
・画地図
　マウスを使用して計測図形を入力します。
・計測条件
　計測条件の詳細設定を行います。
・間口
　間口の指示方法を指定します。
・計測
　計測を行います。
・無道路
　無道路での計測を行う際に、チェックします。
・全クリア
　正面、側方１、側方２、二方の結果をクリアします。
・クリア
　表示されている結果のみをクリアします。

印刷

計測結果の印刷を行います。

7　画地計測

7－1　計測手順

画地計測は以下の手順で行います。

① 計測図面の読み込み
計測に使用する地積測量図等の画像を読み込みます。

② 縮尺概念の設定
基準座標の入力　or　基準線の入力
・「基準座標の入力」
既知の辺の２点の座標と、図面上でのその２点の位置を指定して縮尺を求めます。
・「基準線の入力」
既知の辺の長さと、図面上でのその辺の２点の位置を指定して縮尺を求めます。

③ 画地図形の入力
画地座標の入力　or　画地図の入力
・「画地座標の入力」
画地図形を、座標数値で入力します。
・「画地図の入力」
図面上の画地形状をマウスで入力することにより、画地の図形を入力します。

④ 計測条件の設定（オプション）
計測条件の詳細設定を行います。

⑤ 計測実行
間口の指定により、画地計測が行われます。
間口指定方法：１点入力　or　３点入力　or　多点入力
・「１点入力」
間口の近傍を１点入力します。あとは、システムまかせです。
・「３点入力」
間口辺（２点）と、奥行き方向を入力します。
・「多点入力」
間口辺を細かく（２点以上）と、奥行き方向を入力します。
想定整形地はもっとも長い間口を基準に作成されます。

⑥ 印刷
計測結果をプリンタに印刷します。
あるいは、印刷の pdf 出力により、pdf ファイルで保存することも可能です。

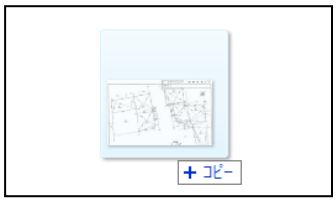
※ 2023/07/03 の、法務省登記所備付地図データ読み込み機能の追加により、法務省登記所備付地図データを使用して計測する場合は、①～③の手順は不要です。
手順が大幅に削減されます。
詳細は、「９．法務省登記所備付地図データを使用した計測」を参照。

７－２　計測図面の読み込み

計測に使用する地積測量図等の画像を読み込みます。
画像（png、jpeg、gif）、または pdf 形式に対応しています。
複数ページの pdf では、１ページ目が対象となります。

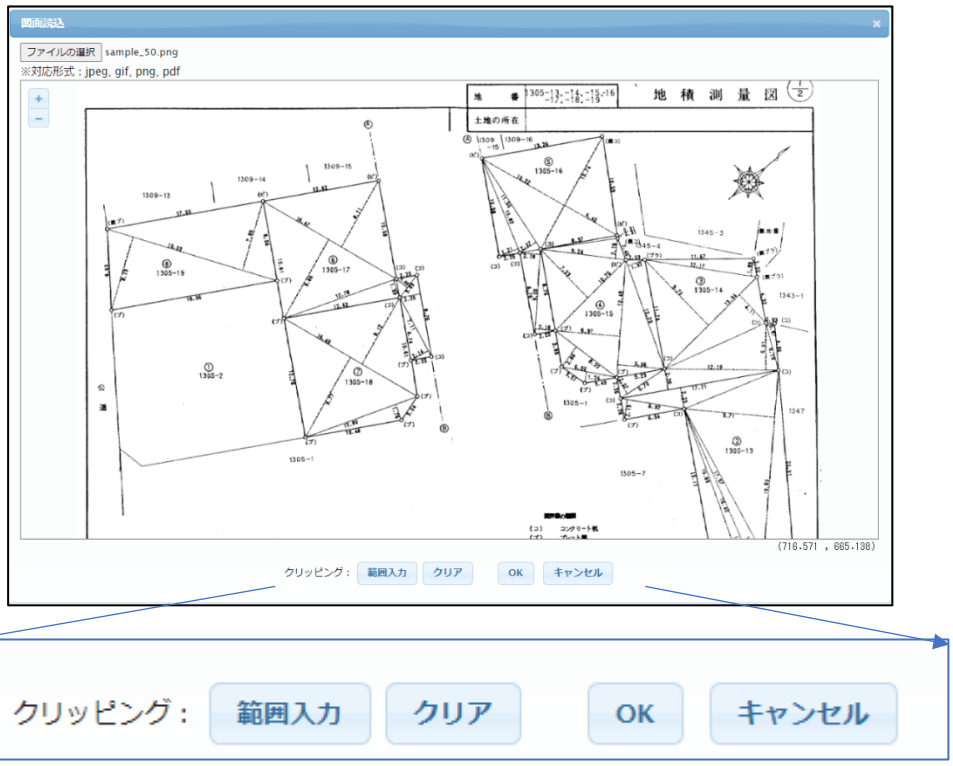
読み込む方法は以下の２種類があります。

① 対象ファイルをマウスで計測ウィンドウ上にドラッグ＆ドロップ。



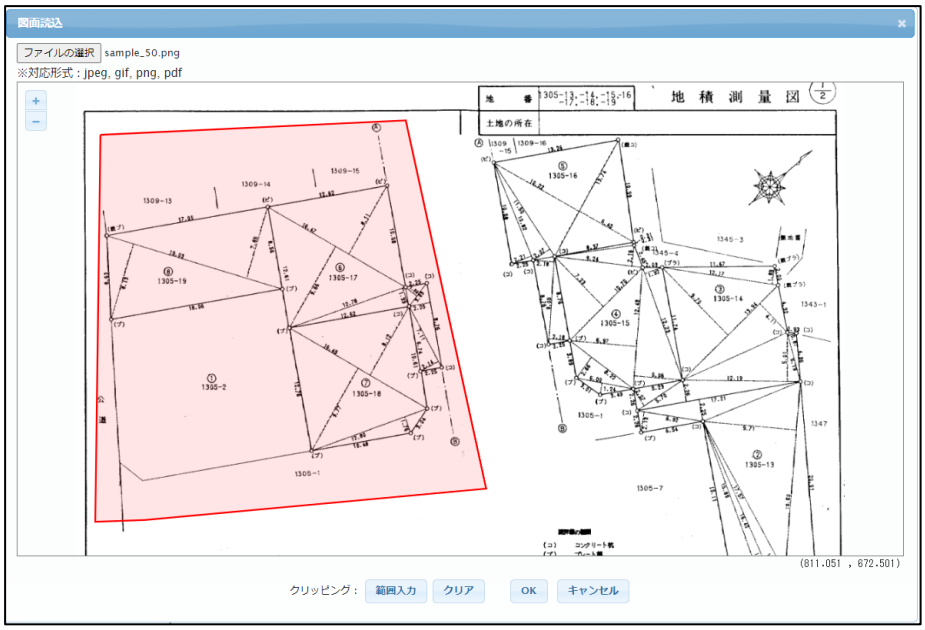
② 図面読込ボタンクリックにより、図面読込ウィンドウを表示してファイル指定。

③ 上記①②により、図面が読み込まれました。

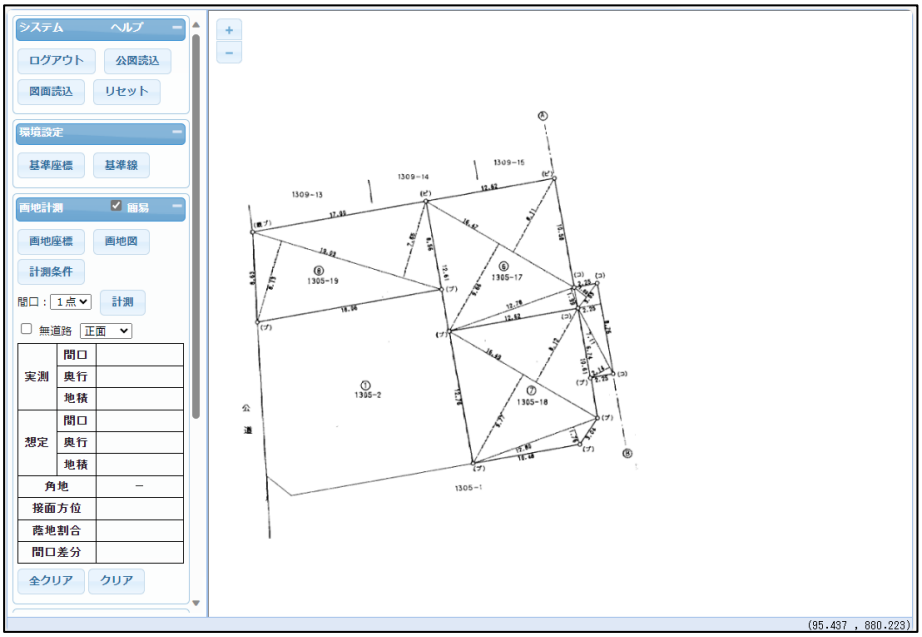


範囲指定：　マウスで必要な範囲を指定してクリッピング可能です。
クリア：　クリッピングをクリアします。
OK：　読み込んだ図面が計測ウィンドウに表示されます。
キャンセル：　読込をキャンセルします。

クリッピングしてみました。



地積測量図が読み込まれました。



計測ウィンドウでの基本的な操作方法は以下となります。

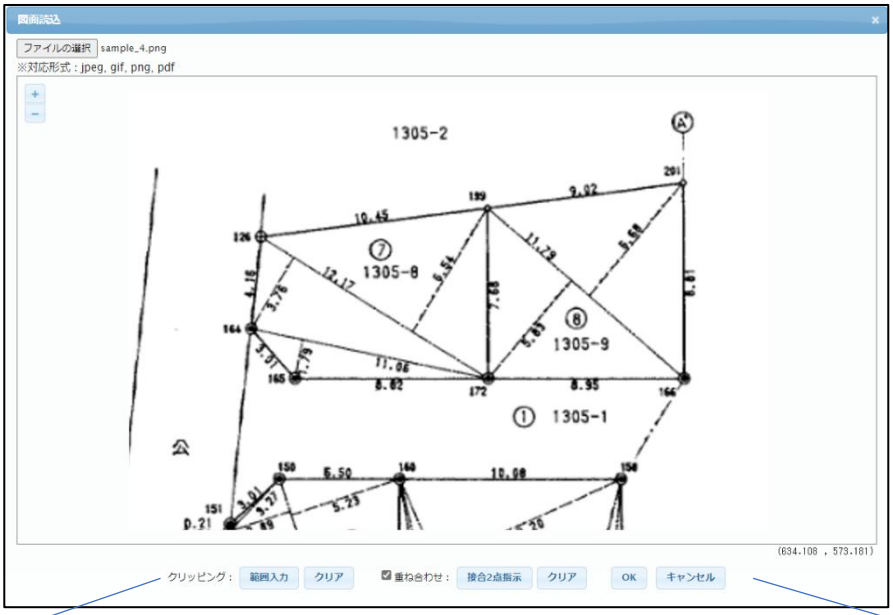
地図移動：　マウスによるドラッグで行います。

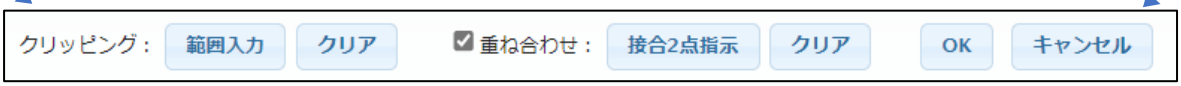
拡大・縮小：　マウスのスクロールホイールの前後で行います。
また、画面左上の によっても可能です。

７－３　複数の計測図面の読み込み

複数の地積測量図等を使用した計測も可能です。
計測したい筆が複数の地積測量図等にまたがっている場合に使用します。

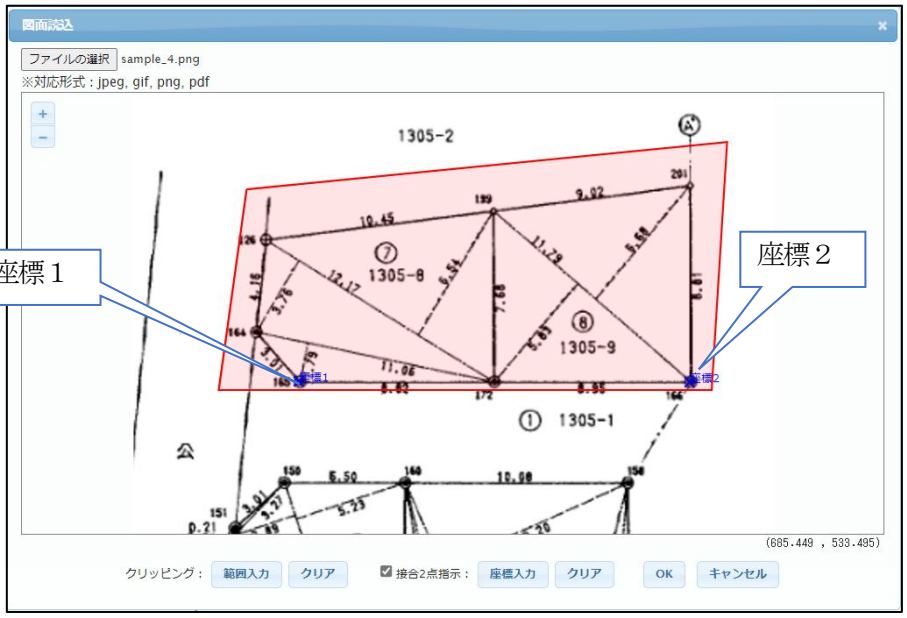
①　１枚目を読み込んだのち、２枚目の図面を計測ウィンドウにドラッグするか、図面読込ボタンクリックにより読み込みます。





②　１枚目の図面と２枚目の図面の接合点を指示します。

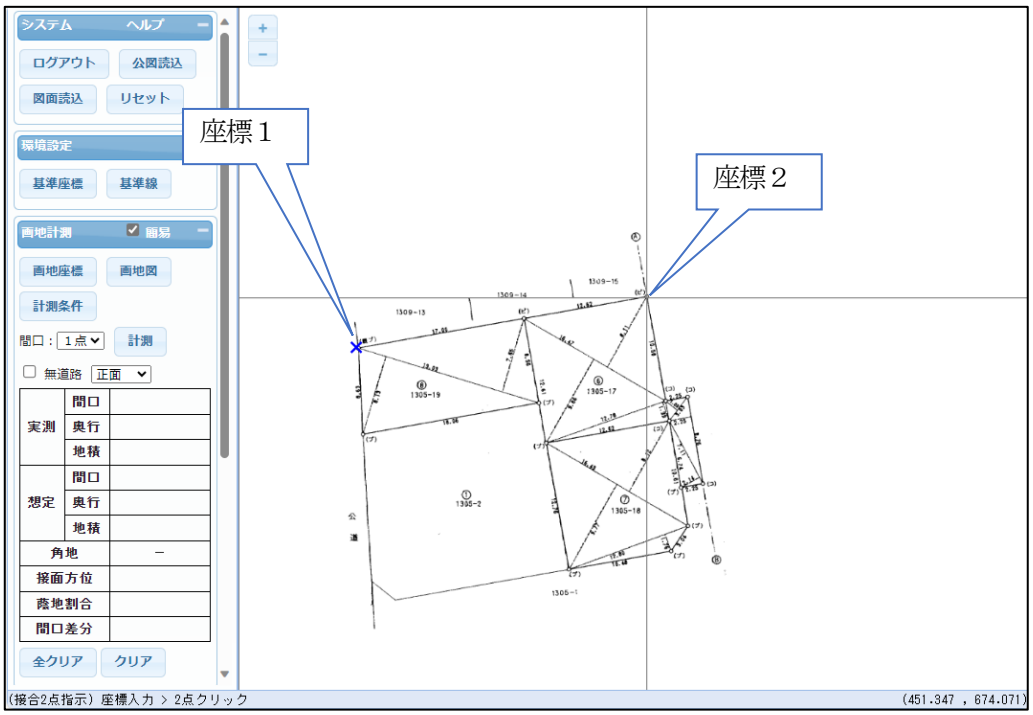
接合２点指示ボタンをクリックし、マウスで接合する２点を指示します。

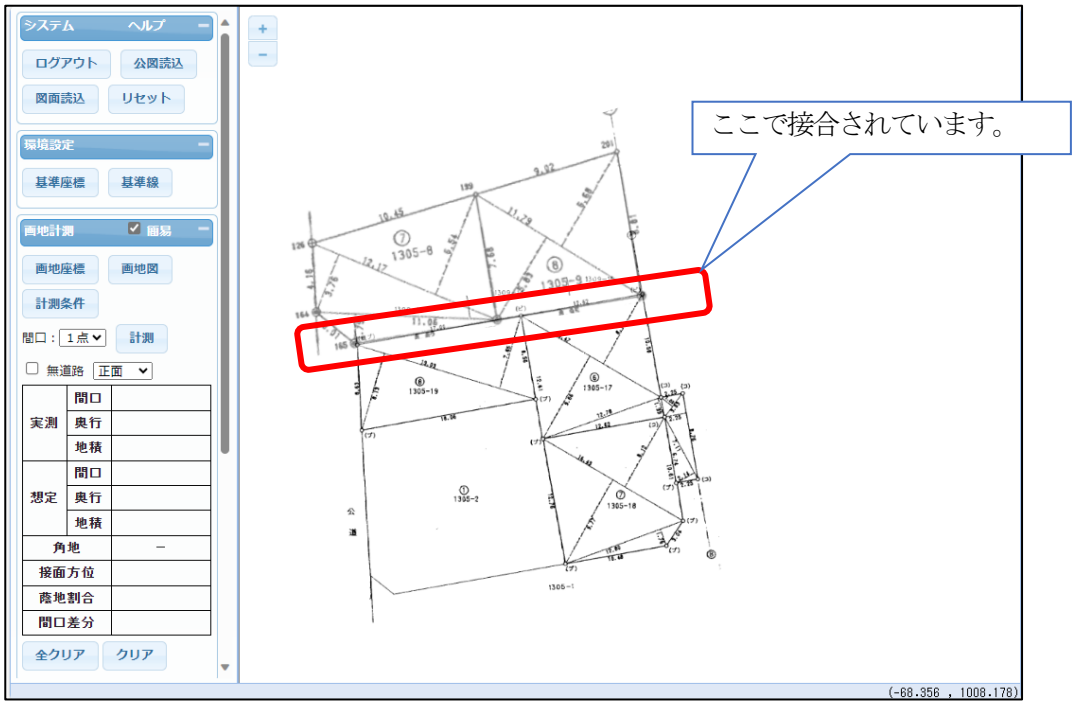


不要な部分が重ならないように、クリッピングも行っています。

OK ボタンのクリックで、計測ウィンドウが表示されます。

計測ウィンドウで、マウスで１枚目の接合点２点を指示すると、２枚の図面が結合されます。





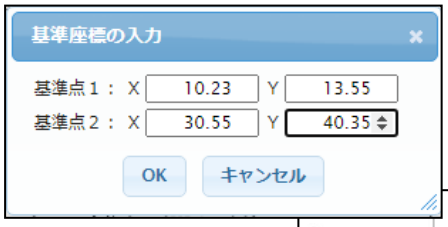
７－４　縮尺概念の設定

読み込んだ図面は画像データのため縮尺概念（縮尺、辺の長さの概念）がありません。
ここでは、図面に縮尺概念を持たせます。

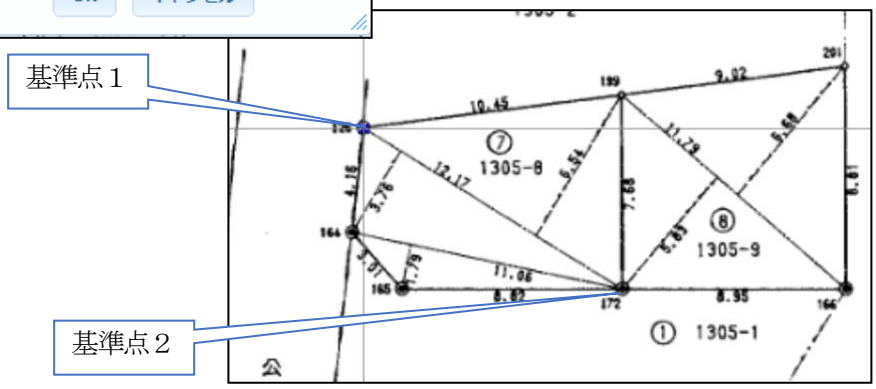
方法は以下の２種類があります。

① 基準座標の入力

既知の２点の座標と、図面上でのその２点の位置を指定して縮尺を求めます。



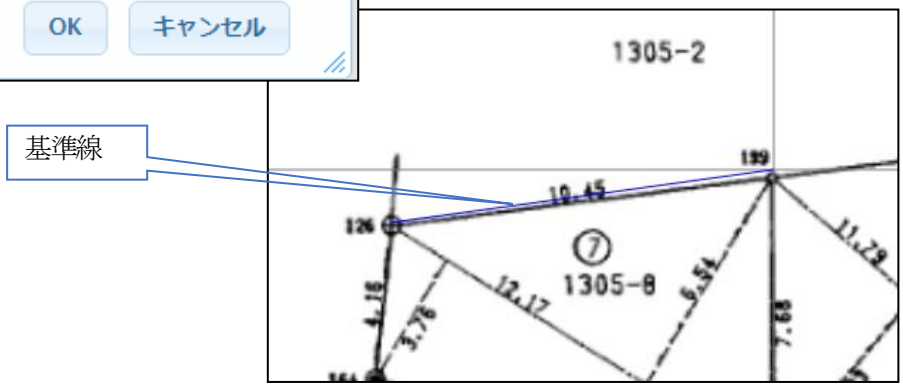
地積測量図では各点の座標が
示されている場合があります。
そのような場合、使用します。



② 基準線の入力

既知の辺の長さと、図面上でのその辺の２点の位置を指定して縮尺を求めます。

地積測量図では各辺の長さが
示されている場合があります。
そのような場合、使用します。



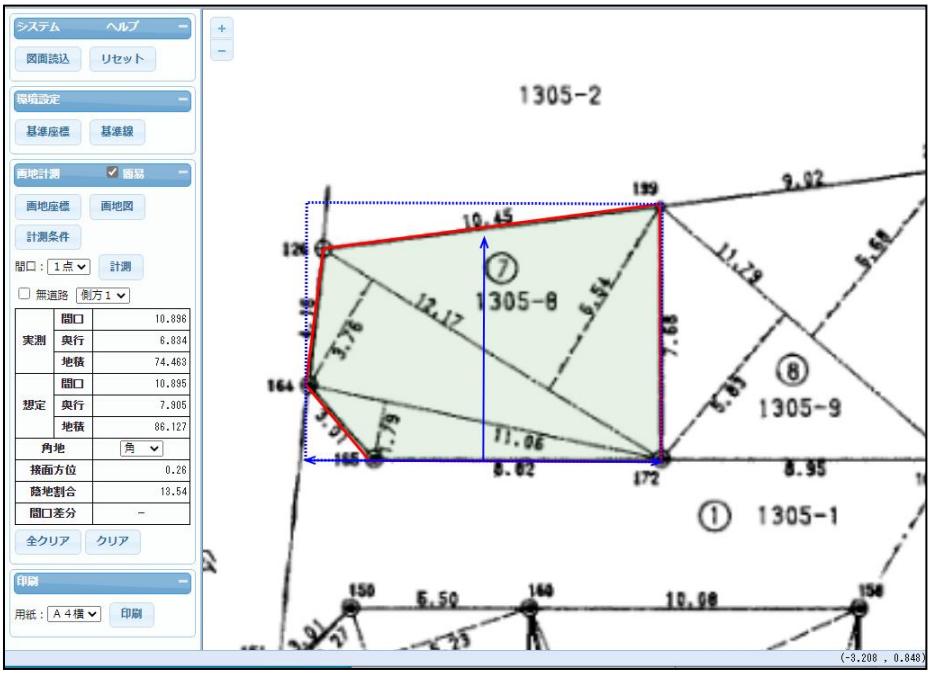
これにより、計測図面に縮尺概念が設定されます。

７－５　画地計測画面（簡易／詳細）

画地計測画面は、簡易画面と詳細画面の２種類を使用可能です。

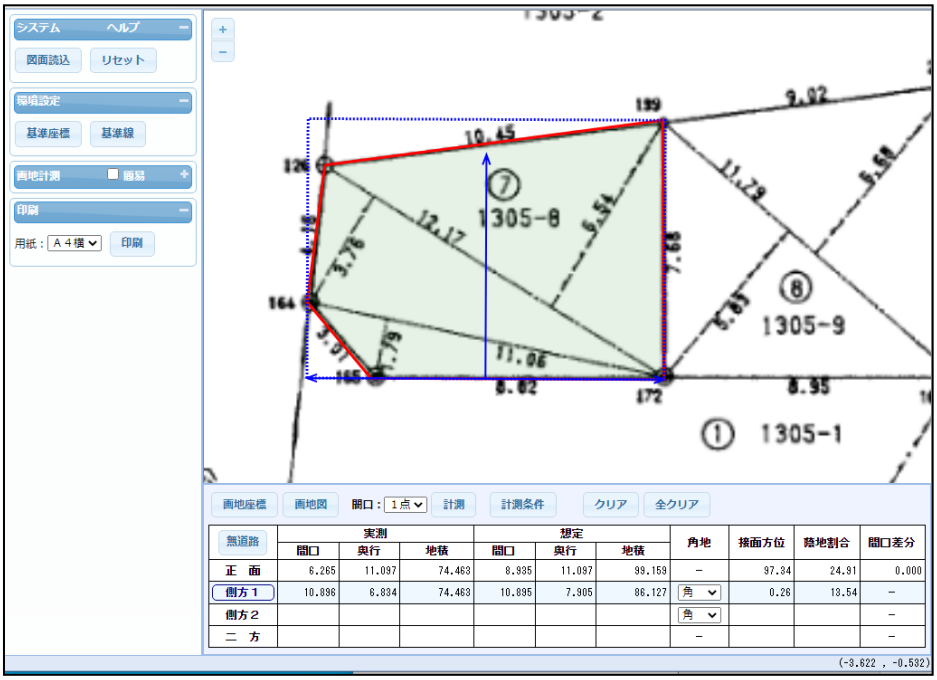
簡易画面（デフォルト）

計測対象（正面／側方１／側方２／二方）の表示を切り替えながら計測します。



詳細画面

計測対象（正面／側方１／側方２／二方）を全て表示して計測します。



使いやすいほうを選択してください。

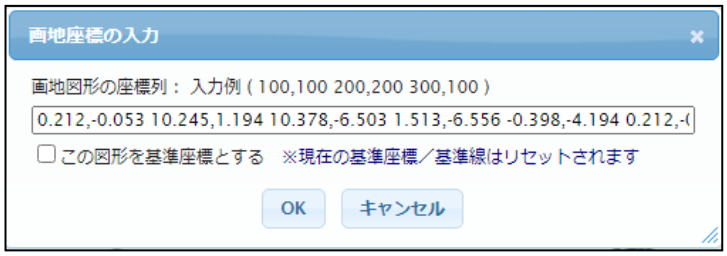
７－６　画地図形の入力

計測する画地図形を入力します。

方法は以下の２種類があります。

① 画地座標の入力

画地図形を、座標数値で入力します。
地積測量図では全ての点の座標が示されている場合があります。
そのような場合、使用します。



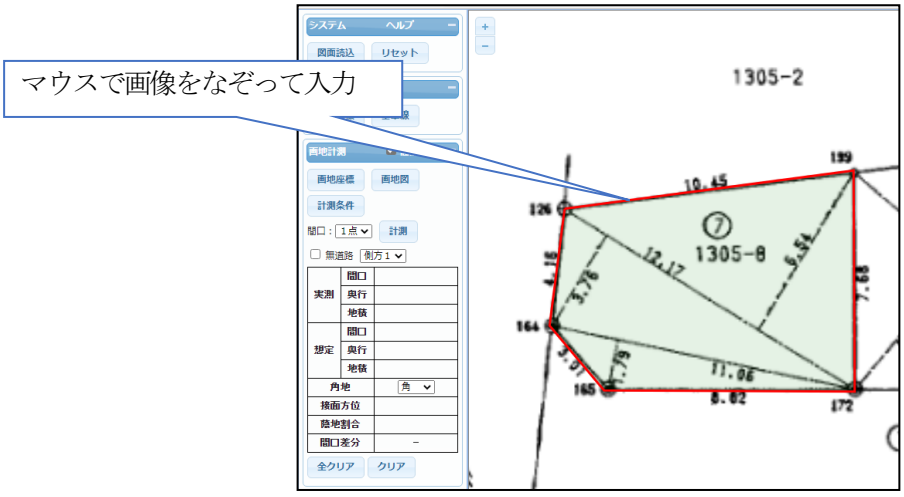
□この図形を基準線とする

チェック ON :　設定されている基準座標、基準線は入力図形座標から再計算されます。

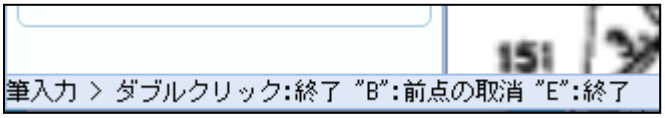
チェック OFF :　設定されている基準座標、基準線から。入力図形座標が再計算されます。

② 画地図の入力

図面上の画地形状をマウスで入力することにより、画地の図形を入力します。



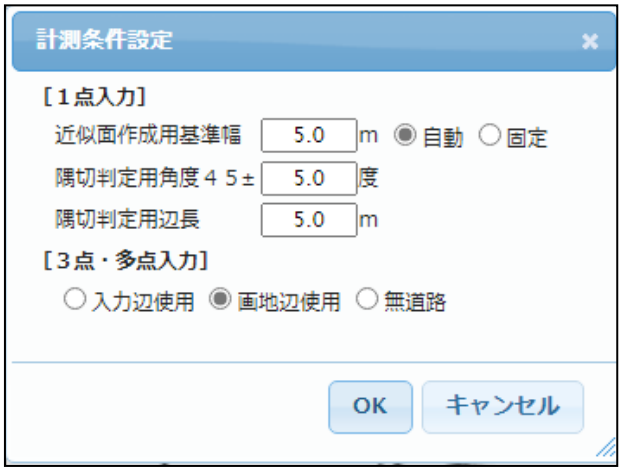
ウィンドウ左下にガイドが出ます。



７－７　計測条件の設定

計測時の細かい設定を変更することが可能です。

計測条件ボタンをクリックし、計測条件設定ウィンドウを表示して行います。



［１点入力］時の条件設定

・近似面作成用基準幅：

間口辺を直線にみなすためのもの

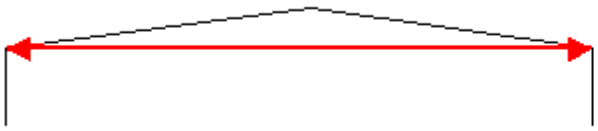
●自動：画地界の面積に応じて計算される

面積が広いほど基準幅も長く設定される。

※面積から求めた正方形の１辺の長さの５％の長さ

●固定：画地界の面積に関係なく指定した長さ　（１m位が一般的）

概念図



・隅切処理：

隅切判定用角度４５±：

間口辺の左右辺の角度が４５度±指定した度の範囲にあれば、隅切処理の対象とする。

例。５度の場合、４０度から５０度の範囲

隅切判定用長：

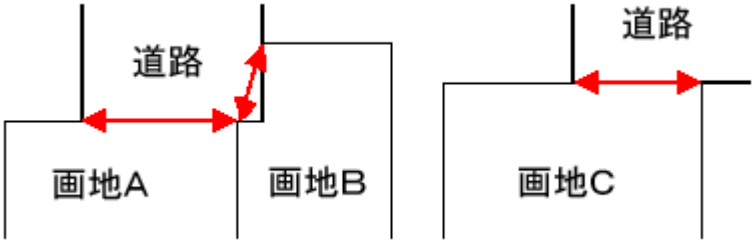
隅切辺の長さが指定した距離未満の場合に隅切処理の対とする。

隅切処理概念図

［３点および多点入力］時の条件設定

・入力辺使用：

袋地の奥の画地や、道路が直角に曲がっているところの画地に、
使用する。（画地辺使用で意図する計測ができないとき）
注意：Ｓコマンド（座標スナップ）を併用する場合は画地辺使用と
同じになる。

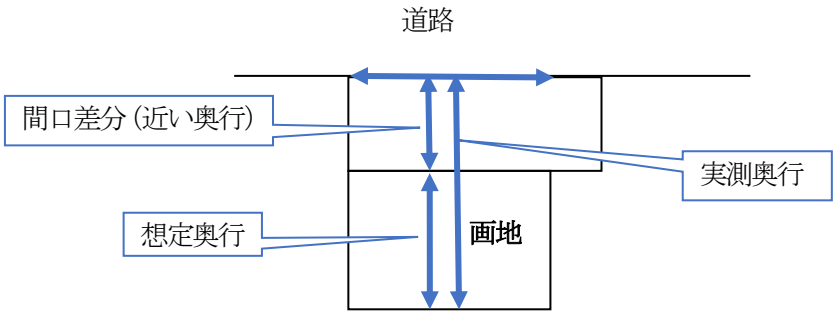


・画地辺使用：

通常はこの処理を使用する。
入力した点から画地を構成する筆図形の最も近い座標を使用する。

・無道路：

近傍の道路縁を２点以上入力し、画地内に３点目を入力する。
想定整形地は道路縁に平行に作成される。
間口差分（近い奥行）：道路縁から想定整形地間口までの距離
想定奥行（画地の奥行き）：想定整形地の奥行き
実測奥行　　：間口差分　＋　想定奥行



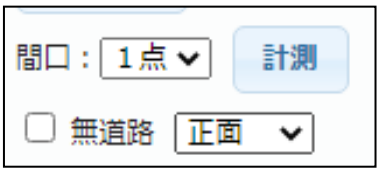
注意：

間口差分（近い奥行）に関しては、無道路計測時には「近い奥行」という項目名となり、
無道路計測時以外では、「間口差分」という項目名となります。

７－８　計測実行

実際の計測処理を行います。
間口の指定により、画地計測が行われます。

間口指定方法：１点入力　or　３点入力　or　多点入力



・「１点入力」
　間口の近傍を１点入力します。あとは、システムまかせです。
・「３点入力」
　間口辺（２点）と、奥行き方向を入力します。
・「多点入力」
　間口辺を細かく（２点以上）と、奥行き方向を入力します。
　想定整形地はもっとも長い間口を基準に作成されます。

☐　無道路
　無道路の指定を行うと、計測間口は「３点」入力、計測結果は「正面」のみが計測対象となります。

７－８－１　１点入力

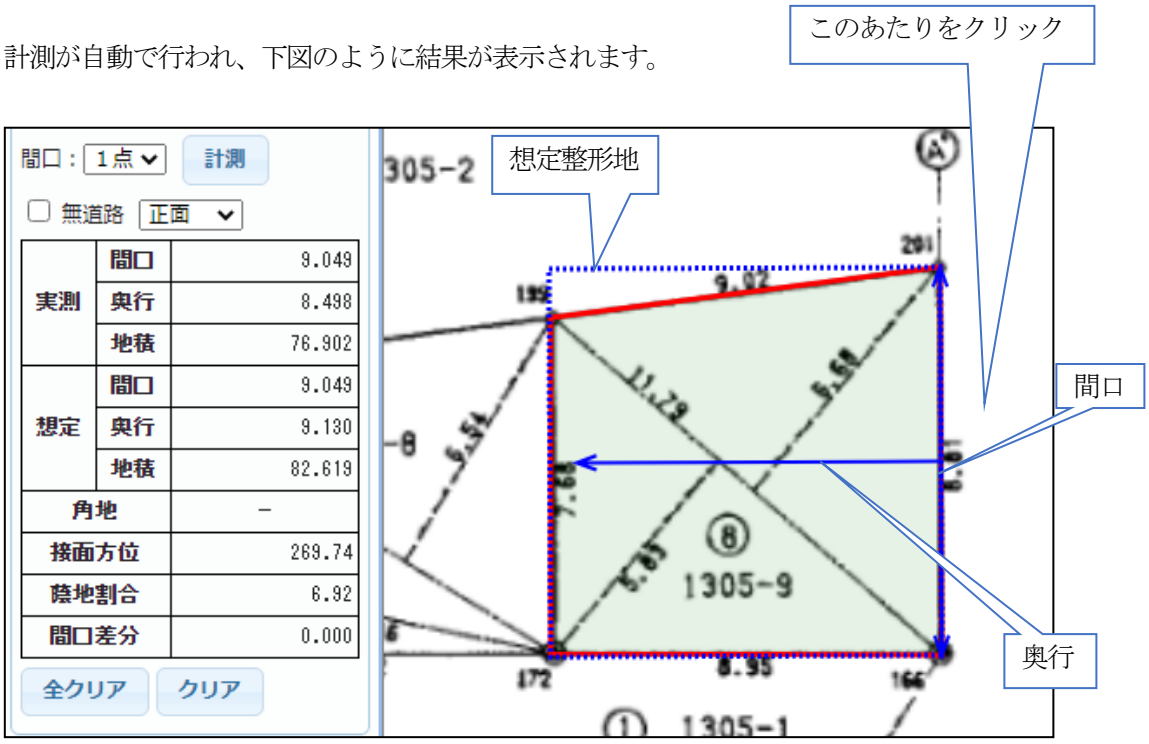
間口の近傍を１点入力します。あとは、システムまかせです。

①　間口の指示方法の中から「１点」を指定します。

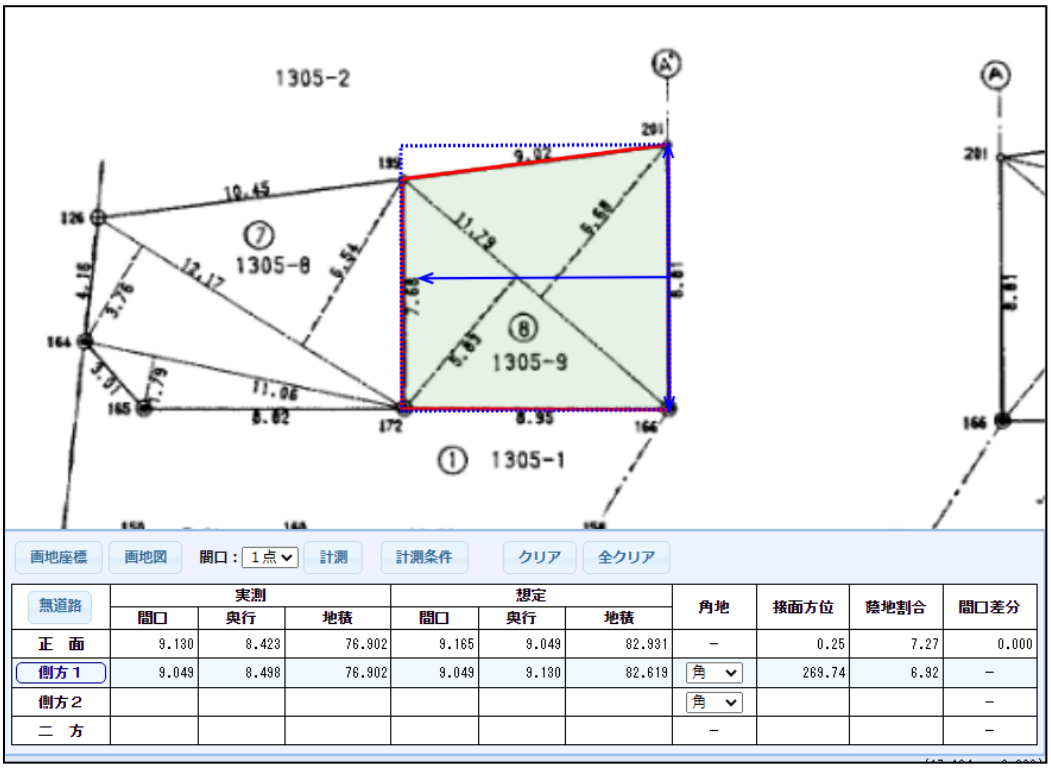
②　計測対象を「正面、側方１、側方２、二方」の中から指定します。

③　計測ボタンをクリックし、間口を計測ウィンドウ上でクリックします。

計測が自動で行われ、下図のように結果が表示されます。



詳細画面での表示



無道路	実測			想定			角地	接面方位	陰地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正　面	9.130	8.423	76.902	9.165	9.049	82.931	－	0.25	7.27	0.000
側方１	9.049	8.498	76.902	9.049	9.130	82.619	角	269.74	6.92	－
側方２							角			－
二　方							－			－

計測結果

実測（間口、奥行、地積）：

実測（入力した画地図）の間口、奥行、面積となります。

想定（間口、奥行、地積）：

システムが生成した想定整形地の間口、奥行、面積となります。

角地：

これは、側方１，側方２の時に選択可能で、「角」「準角」を、手動で設定します。

接面方位：

奥行の角度を表します。
北方向が０度で、左周りに３６０度で表示します。

陰地割合：

（１　―　実測地積／想定地積）　／　１００　となります。

間口差分：

実際は無道路計測時に意味があります。
間口から想定整形地までの距離です。
無道路計測維持は「近い奥行」という項目名になります。

その他の場合は、計測条件設定で、「入力辺使用」を選択した場合の、入力した間口から想定整形地の間口までの距離となります。

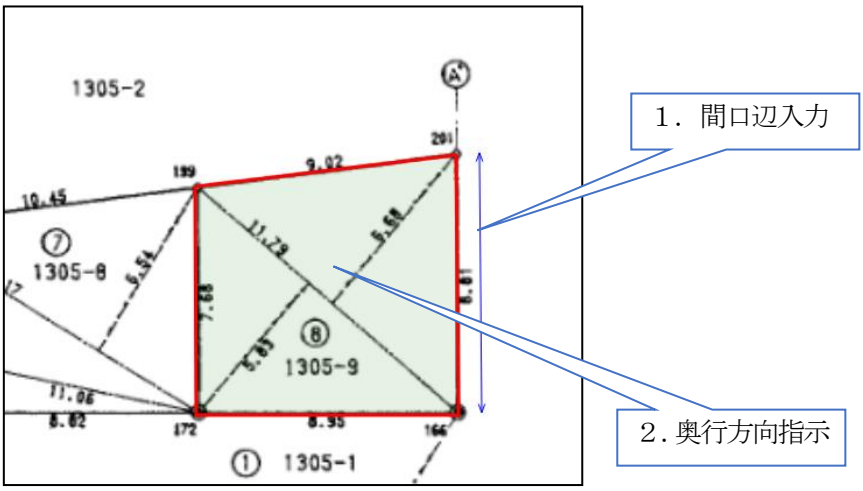
７－８－２　３点入力

間口を手動で指定する計測方法です。
間口辺（２点）と、奥行き方向を入力します。
計測条件設定で、「入力辺使用」を選択した場合に特に有効です。

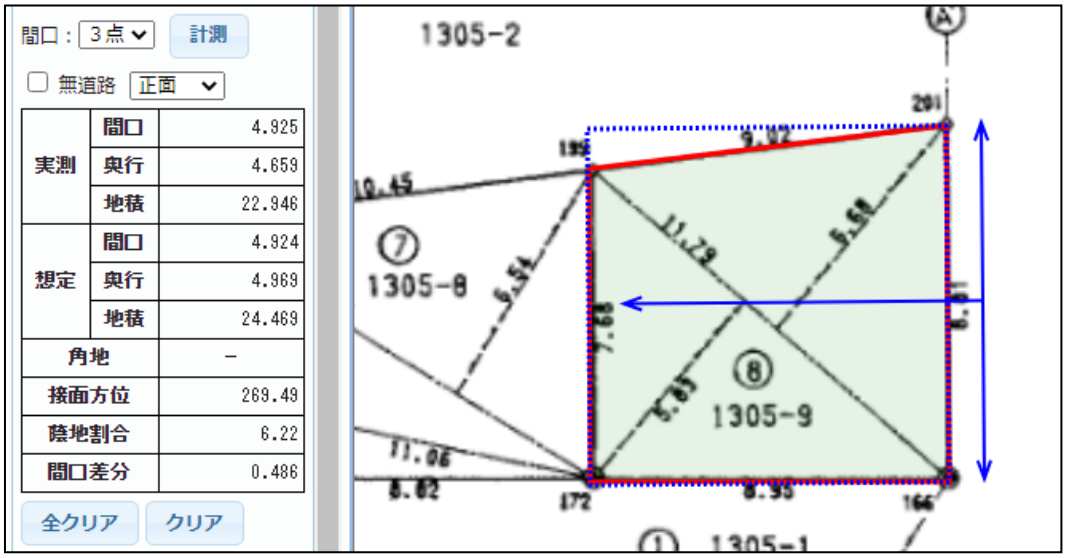
① 間口の指示方法の中から「３点」を指定します。

② 計測対象を「正面、側方１、側方２、二方」の中から指定します。

③ 計測ボタンをクリックし、間口となる辺（２点）を計測ウィンドウ上で入力し、最後に奥行方向を１点支持します。



計測が自動で行われ、下図のように結果が表示されます。



分かりやすくするため、極端に間口をずらしています。
計測条件設定で、「画地辺使用」を選択した場合は、システムが自動で間口を画地辺に摺り寄せてしまうので、あまり意味がありません。

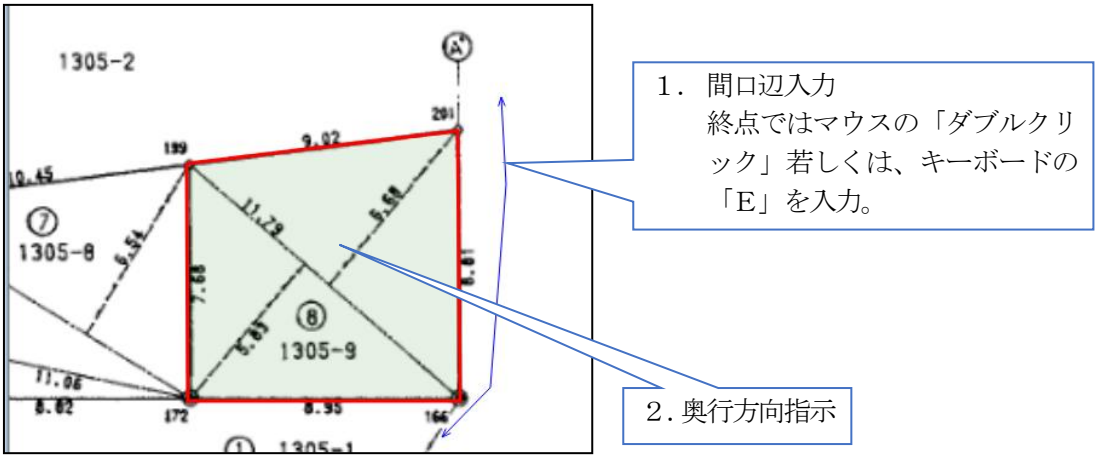
７－８－３　多点入力

間口を手動で細かく指定する計測方法です。
間口辺（２点以上）と、奥行き方向を入力します。
想定整形地はもっとも長い間口を基準に作成されます。
計測条件設定で、「入力辺使用」を選択した場合に特に有効です。

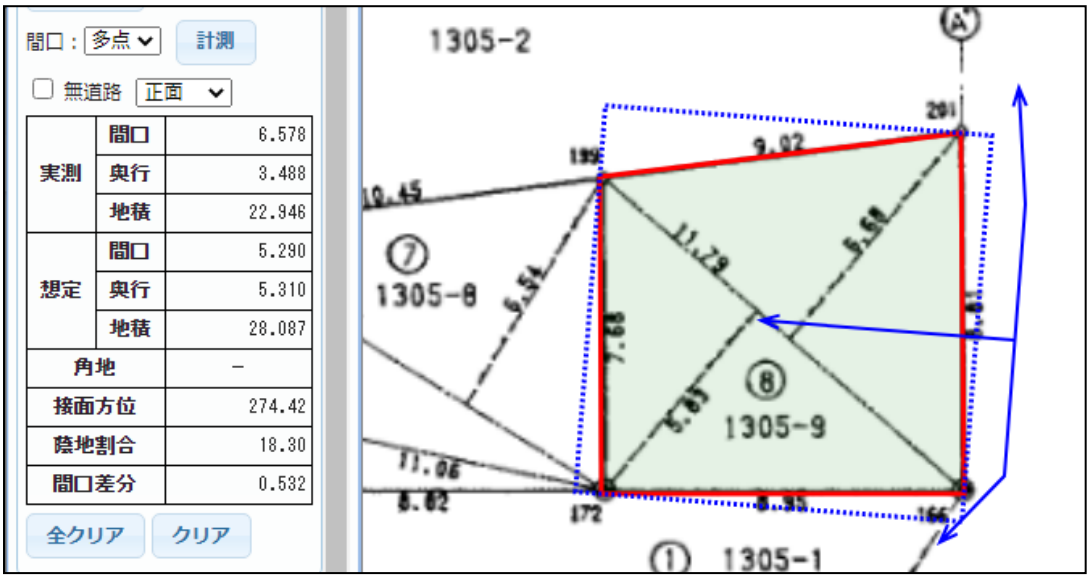
① 間口の指示方法の中から「多点」を指定します。

② 計測対象を「正面、側方１、側方２、二方」の中から指定します。

③ 計測ボタンをクリックし、間口となる辺（２点以上）を計測ウィンドウ上で入力し、最後に奥行方向を１点支持します。



計測が自動で行われ、下図のように結果が表示されます。



分かりやすくするため、極端に間口をずらしています。
計測条件設定で、「画地辺使用」を選択した場合は、システムが自動で間口を画地辺に摺り寄せてしまうので、あまり意味がありません。

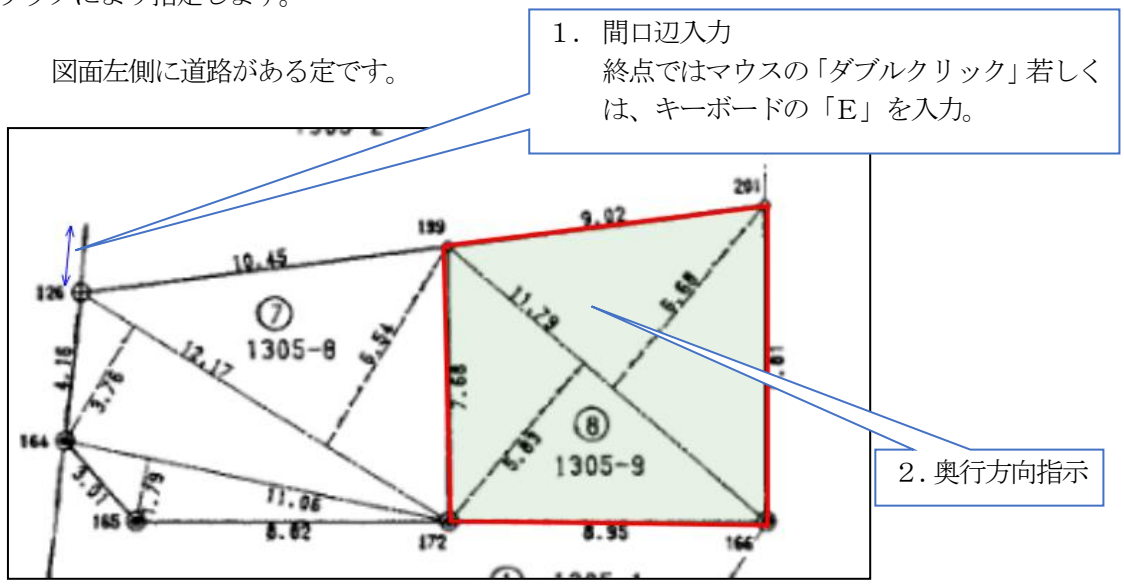
７－８－４　無道路計測

無道路地の計測方法です。
近傍の道路縁間口辺（２点以上）と、奥行き方向を入力します。
想定整形地はもっとも長い間口を基準に作成されます。

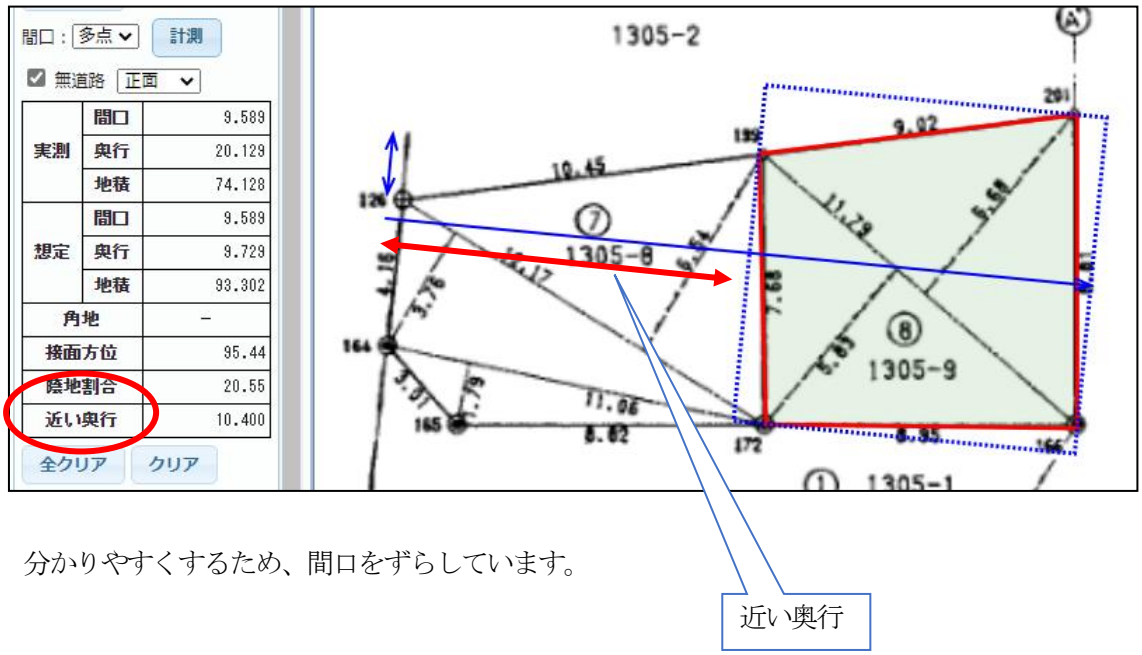
① 「□　無道路」チェックボックスを ON にします。
自動的に、　間口＝多点、計測条件設定＝無道路となります。
また、正面が選択されます。

② 計測ボタンをクリックし、無道路地の間口となる辺（２点以上）を計測ウィンドウ上でマウスクリックにより指定します。

図面左側に道路がある定です。



計測が自動で行われ、下図のように結果が表示されます。



分かりやすくするため、間口をずらしています。

７－８－５　計測値のクリア

計測した値をクリアします。

全クリア：　正面、側方１、側方２、二方の計測結果すべてをクリアします。
クリア：　表示・選択しているデータのみをクリアします。

７－８－６　ヘルプ（計測補助機能）

計測ウィンドウにおける計測補助機能です。
キーボードショートカットのヘルプウインドウを表示します。

実際には、計測ウィンドウ上でキーボードの下記キー（「０」「１」。。。）を入力することで機能が有効となります。ヘルプウィンドウを表示する必要はありません。

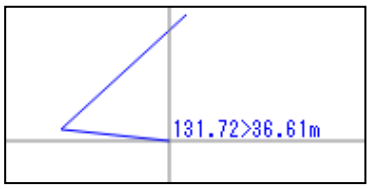
ヘルプ

計測・入力補助機能		
0	計測情報のクリア	
1	距離計測	相対角度/線分距離
2		角度/線分距離
3		相対角度/距離
4		角度/距離
5	面積計測	相対角度/面積
6		角度/面積
7	格子表示	
8	円表示	全体
9		中心
Shift	入力線分の直角補正 ※図形入力中のみ （'f'キーによる終了で 始点からも直角補正）	
s	スナップOn/Offの切替 ※図形入力中のみ	

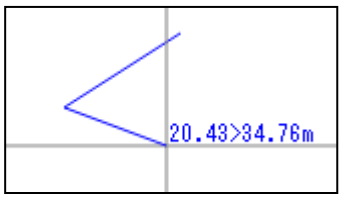
図面表示機能	
Ctrl+左クリック	拡大
Ctrl+Shift+左クリック	縮小
Ctrl+左ドラッグ	範囲指定による拡大
Alt+左ドラッグ	スクロール
w	元の範囲に戻す
Shift+左クリック	カーソルを中心に図面再表示
左ドラッグ	スクロールと図面再表示

０：　クリア

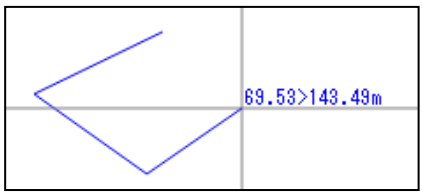
１：



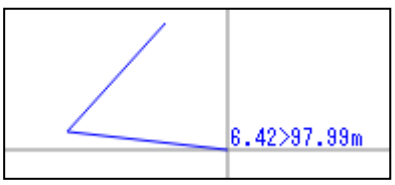
２：



３：

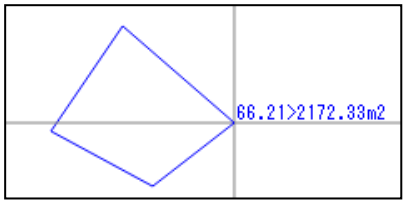


４：

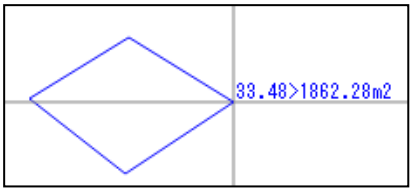


5	面積計測	相対角度/面積
6		角度/面積
7	格子表示	
8	円表示	全体
9		中心
Shift	入力線分の直角補正 ※図形入力中のみ （'f'キーによる終了で 始点からも直角補正）	
s	スナップOn/Offの切替 ※図形入力中のみ	

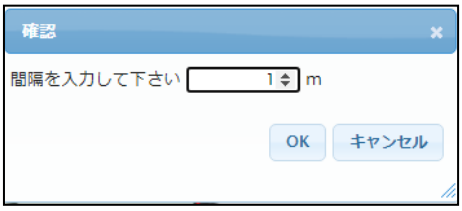
5：



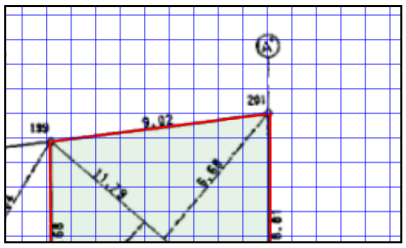
6：



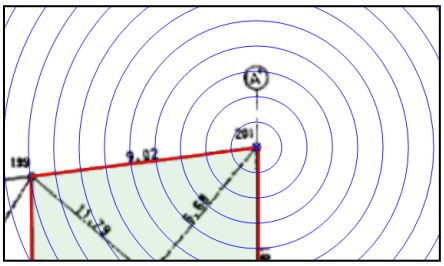
7、8、9は、間隔を入力後、起点をマウスで指示。



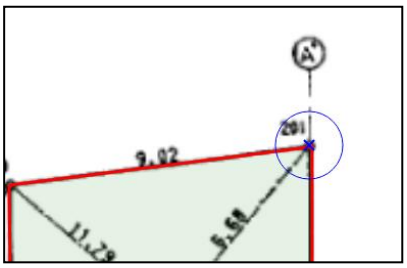
7：



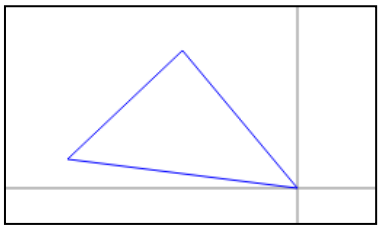
8：



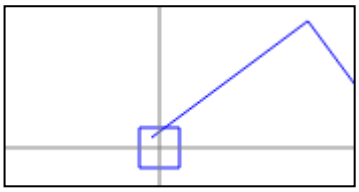
9：



Shift: 入力中、次の点が９０度上にしかおけない。



S: 既存の補助線等をスマップできます



計測ウィンドウ上のマウス操作の補助機能です。

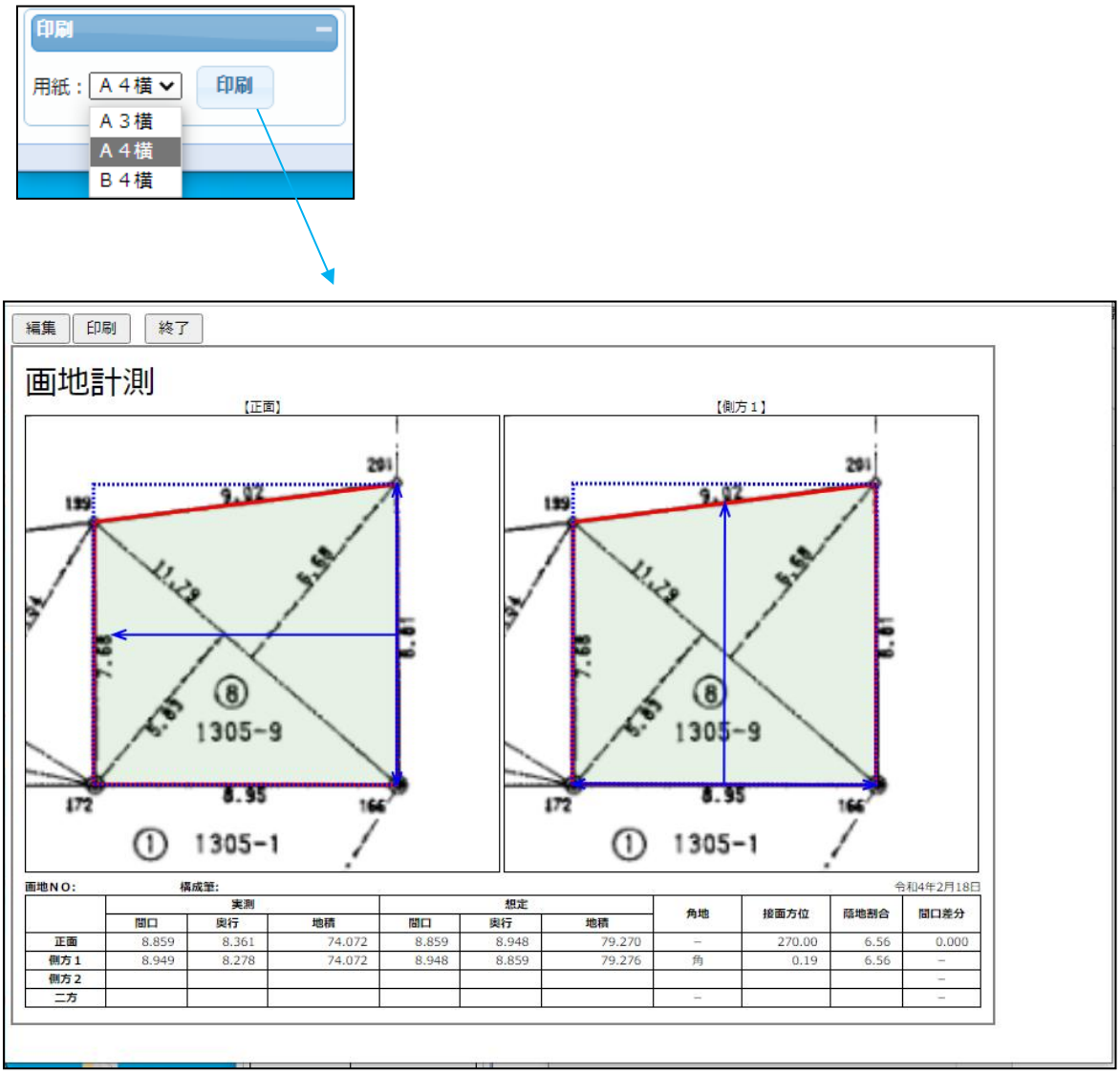
図面表示機能	
Ctrl+左クリック	拡大
Ctrl+Shift+左クリック	縮小
Ctrl+左ドラッグ	範囲指定による拡大
Alt+左ドラッグ	スクロール
w	元の範囲に戻す
Shift+左クリック	カーソルを中心に図面再表示
左ドラッグ	スクロールと図面再表示

８　印刷

計測結果をプリンタに印刷します。
あるいは、印刷の pdf 出力により、pdf ファイルで保存することも可能です。

８－１　印刷レイアウト

用紙を選択して、印刷ボタンをクリックし、印刷プレビューウィンドウを起動します。



	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正面	8.859	8.361	74.072	8.859	8.948	79.270	–	270.00	6.56	0.000
側方１	8.949	8.278	74.072	8.948	8.859	79.276	角	0.19	6.56	–
側方２										–
二方							–			–

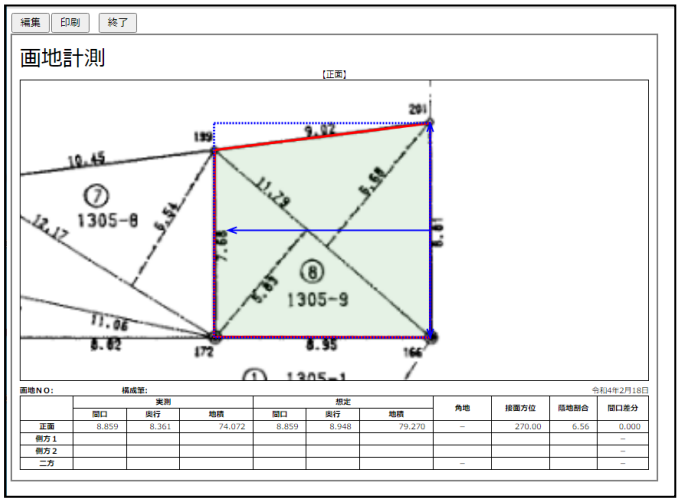
計測結果の図と計測値が整形された印刷イメージで表示されます。

編集：　印刷イメージ、印刷修飾、計測値の編集が可能です。

印刷：　印刷を実行します。

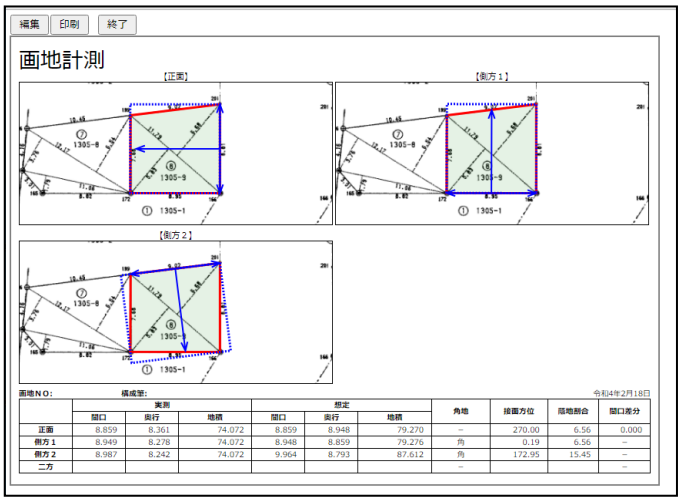
計測データにより印刷レイアウトが変わります。

正面のみの場合。



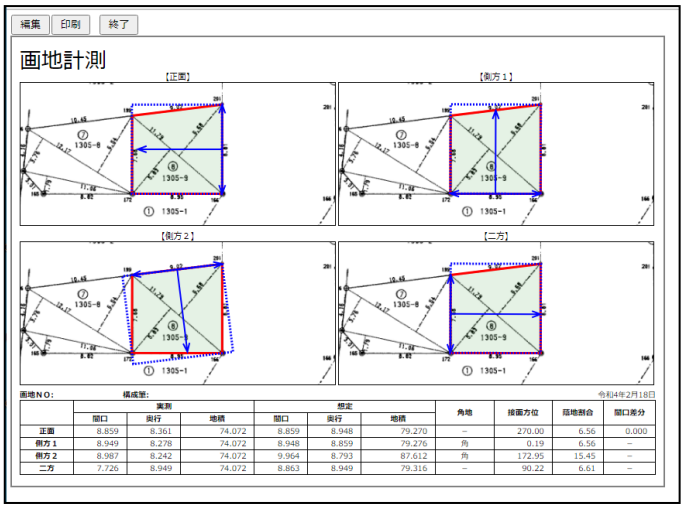
	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正面	8.859	8.361	74.072	8.859	8.948	79.270	–	270.00	6.56	0.000
側方１										–
側方２										–
二方							–			–

正面、側方１、側方２がある場合。



	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正面	8.859	8.361	74.072	8.859	8.948	79.270	–	270.00	6.56	0.000
側方１	8.949	8.278	74.072	8.948	8.859	79.276	角	0.19	6.56	–
側方２	8.987	8.242	74.072	9.964	8.793	87.612	角	172.95	15.45	–
二方							–			–

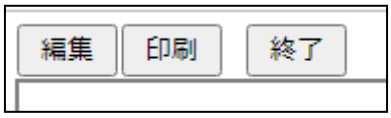
正面、側方１、側方２、二方、全てある場合。



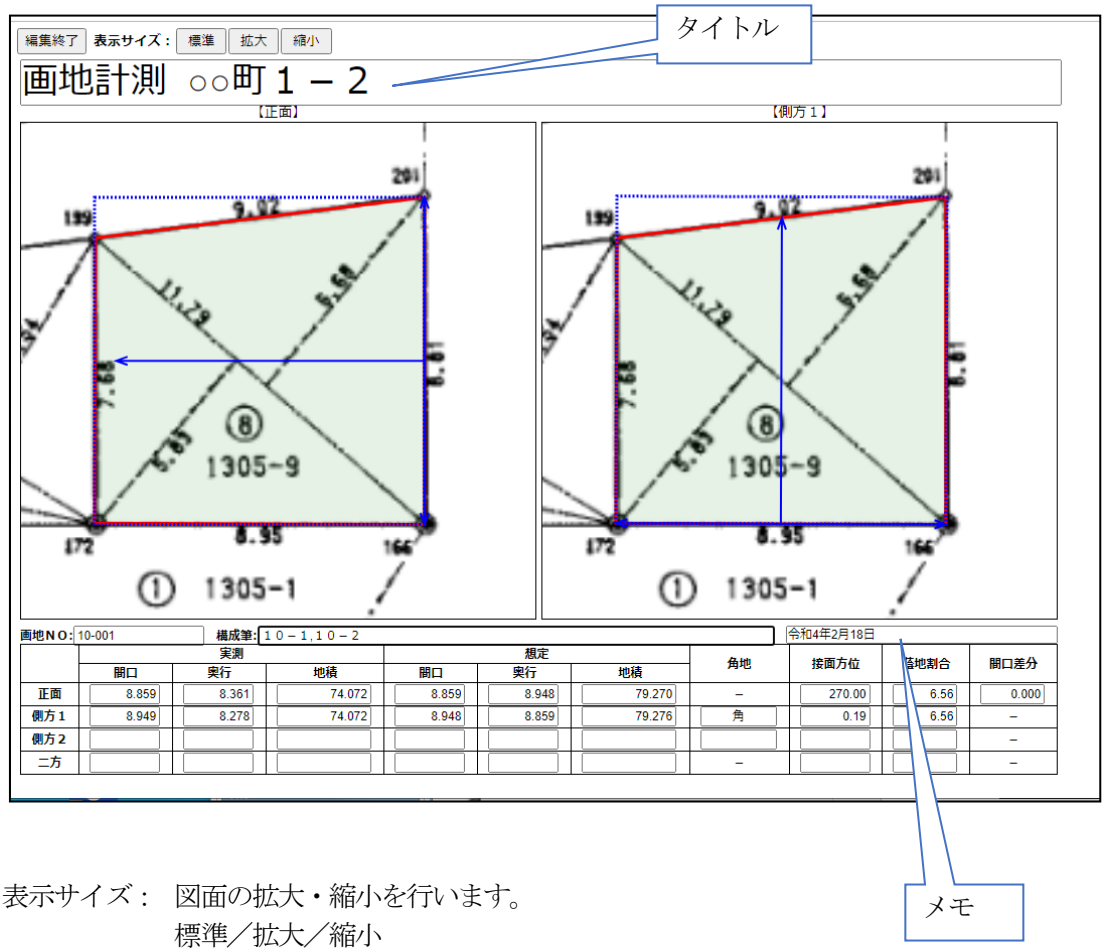
	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正面	8.859	8.361	74.072	8.859	8.948	79.270	–	270.00	6.56	0.000
側方１	8.949	8.278	74.072	8.948	8.859	79.276	角	0.19	6.56	–
側方２	8.987	8.242	74.072	9.964	8.793	87.612	角	172.95	15.45	–
二方	7.726	8.949	74.072	8.863	8.949	79.316	–	90.22	6.61	–

８－２　印刷データの編集

印刷イメージ、印刷修飾、計測値の編集が可能です。



編集ボタンをクリックすると、プレビュー画面が編集モードとなります。



	実測			想定			角地	接面方位	宅地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正面	8.859	8.361	74.072	8.859	8.948	79.270	－	270.00	6.56	0.000
側方１	8.949	8.278	74.072	8.948	8.859	79.276	角	0.19	6.56	－
側方２										－
二方							－			－

表示サイズ：　図面の拡大・縮小を行います。
標準／拡大／縮小

タイトル：　デフォルトは「画地計測」
たとえば、地番を入力するとかに使用できます。

画地 NO：　画地 NO があれば入力します。

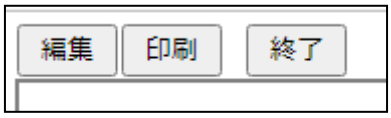
構成筆：　複数筆で一画地の場合、構成地番を入力します。

メモ：　デフォルトは印刷日

計測値：　計測値の修正も可能です。

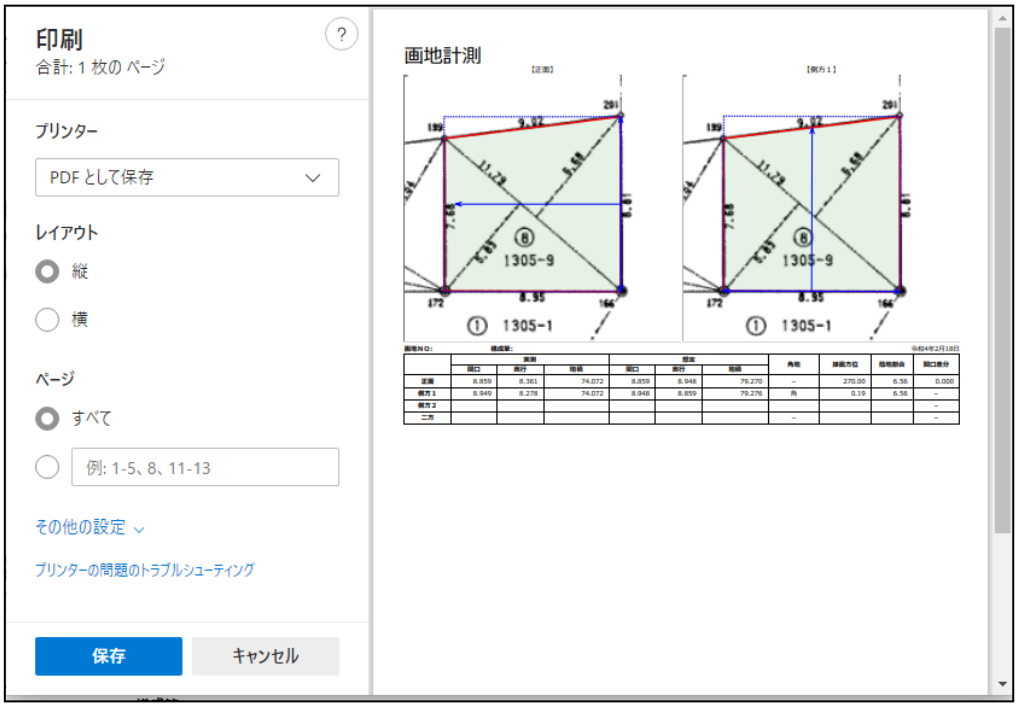
８－３　印刷

印刷を実行します。



印刷ボタンをクリックすると、ブラウザの印刷ウィンドウが表示されます。
あとは、ブラウザに印刷機能に従って印刷します。

（例）Microsoft Edge の印刷ウィンドウ



画地計測では、直接 pdf 出力、画像出力の機能は装備しておりません。

計測結果を保存する場合は、ブラウザの印刷機能にて pdf 出力する等で対応願います。

★★★★★

以下は、画地計測のフルバージョンのみの機能です。「画地計測 mini」では使用できません。

★★★★★

９．法務省登記所備付地図データを使用した計測

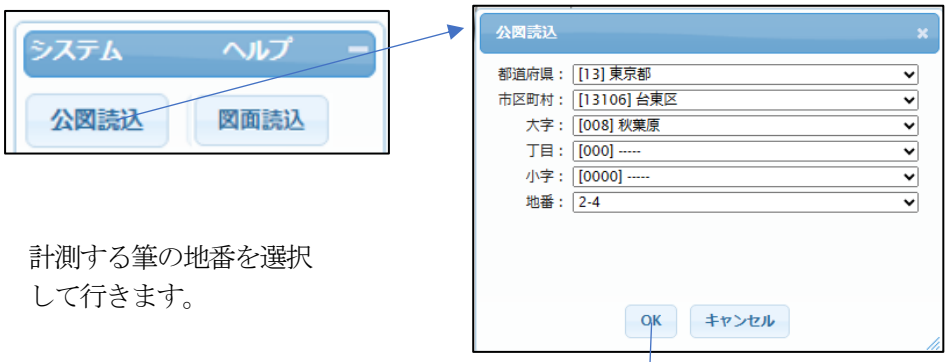
令和５年１月２３日より、全国の登記所備付地図の電子データがG空間情報センターを通じて無償で一般公開されました。
弊社では、このデータをダウンロードし、データベース化しています。
日本全国で約２億４千万筆。

・平面直角座標（地図に重なる）のものが約１億１千万筆。
・任意座標（地図に重ならない）のものが約１億３千万筆。

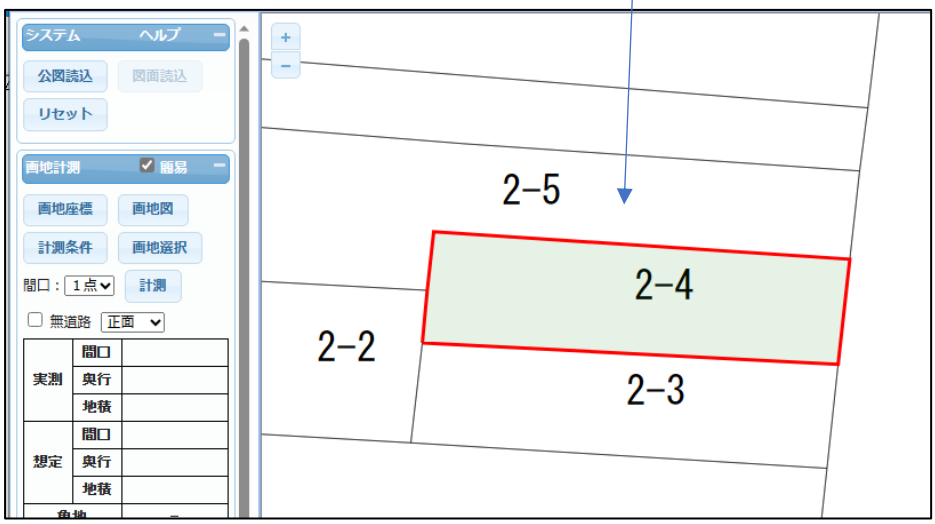
そこで、このデータを使用した計測も可能としました。
これにより、地積測量図等をスキャン（画像化）しなくても、全国の筆を計測可能となりました。
これまでの画像を使用した計測も、そのまま使用可能です。

９－１　地番検索

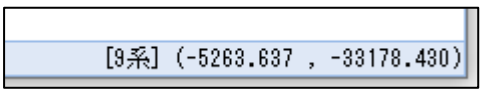
法務省登記所備付地図データは、地番検索で読み込みます。
公図読込ボタンをクリックし、公図読込ポップアップを表示します。

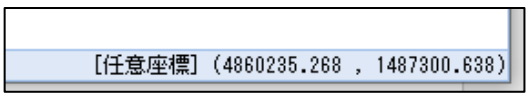


計測する筆の地番を選択
して行きます。

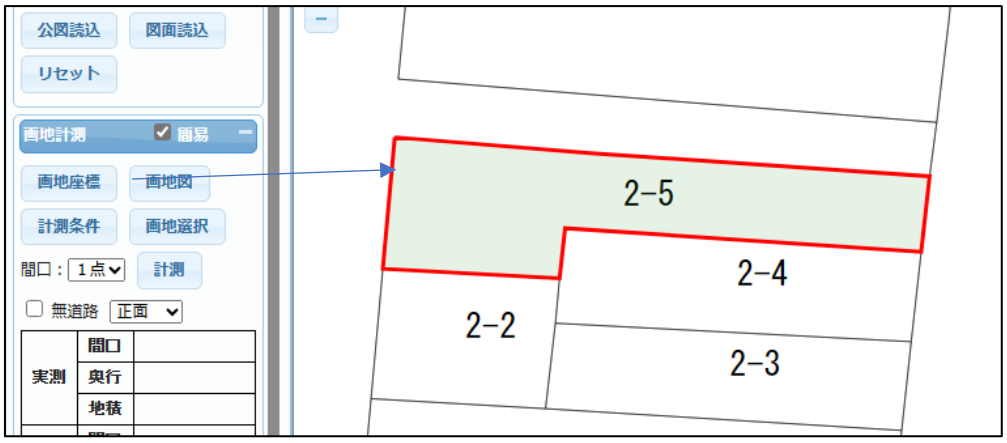


OK ボタンクリックで、対象の筆が検索され、計測ウィンドウに表示されます。
検索と同時に、その筆が、平面直角座標のものか、任意座標のものかの区別が、画面右下に表示されます。



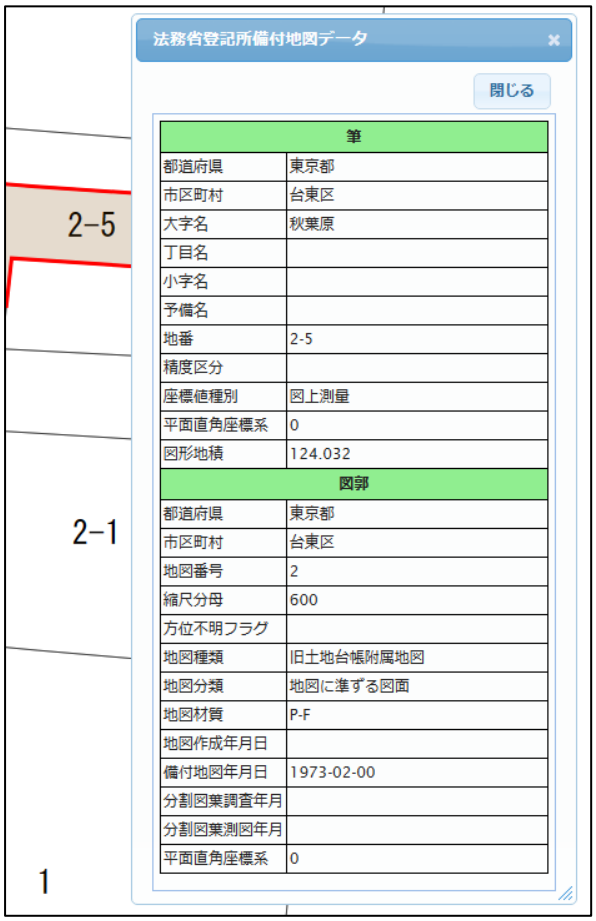


地番検索で対象筆が検索、選択された状態となります。
が、他の筆を計測したい場合は、画地選択ボタンで対象筆を変更可能です。

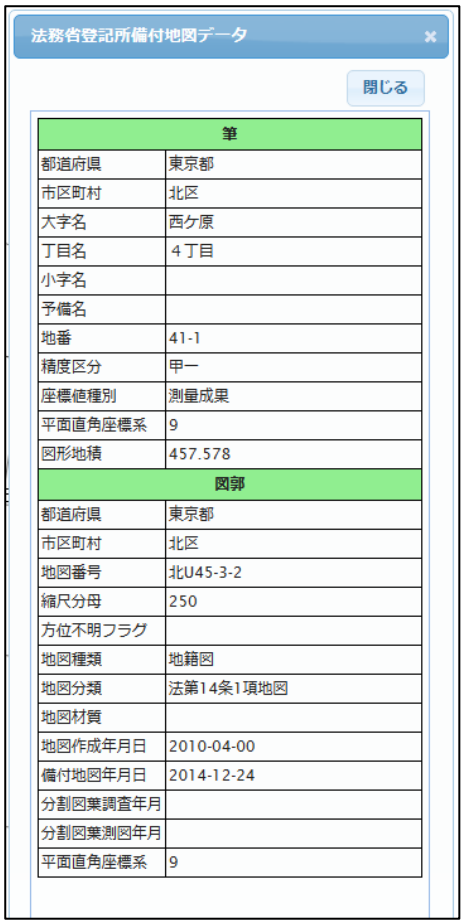


９－２　筆情報

任意の筆をマウスでクリックすることにより、その筆の情報（精度区分、座標値種別、地図分類等）がポップアップ表示されます。



任意座標サンプル



平面直角座標サンプル

計測対象の筆の座標精度の参考にしてください。

精度区分：

甲一
甲二
甲三
乙一
乙二
乙三

座標値種別：

測量成果
図上測量

平面直角座標系：

1～13　：　平面直角座標の系
0　：　任意座標

地図種類：

地籍図
土地改良所在図
土地区画整理所在図
法務局作成地図
旧土地台帳附属地図
その他
街区基本調査成果図
街区単位修正図
土地境界復元図
用地実測図

地図分類：

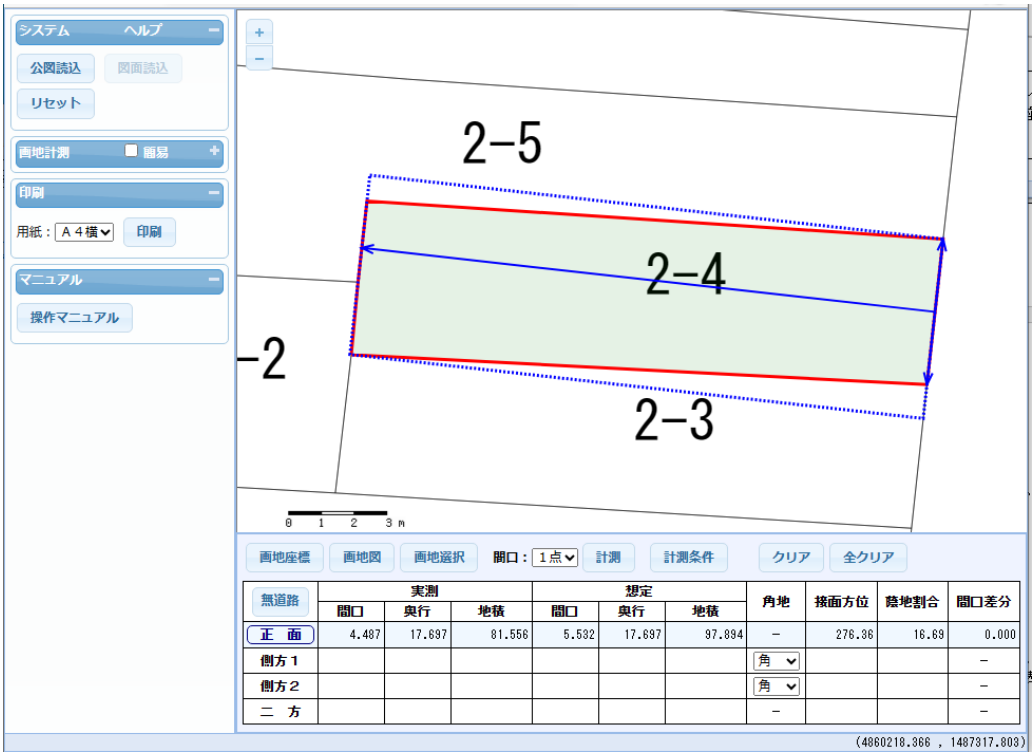
法第 14 条 1 項地図（国調法 19-5 指定）
法第 14 条 1 項地図
地図に準ずる図面（国調法 19-5 指定）
地図に準ずる図面
法第 14 条 1 項建物所在図
建物所在図に準ずる図面
地図に準ずる図面（街区成果 A）
地図に準ずる図面（街区成果 B）
地図に準ずる図面（街区成果 C）

地図材質：

P-F
A-K
和-洋紙
その他
電磁的記録媒体

９－３　計測

画地の計測方法は、画像を使用した場合と同じです。
「７－７　計測実行」を参照願います。



９－４　メリット

法務省登記所備付地図データ読み込みでの計測のメリットは、

① 計測対象の筆の準備作業の軽減。
・測量図等の画像化（スキャン等）が必要ありません。

② 計測準備も不要。
・画地図のマウスでの入力、縮尺概念の入力も不要です。

③ 計測制度の向上。
・スキャン時の歪み、画地図入力時点での誤差もなく、法務省登記所備付地図データそのものの精度で画地計測が可能となります。

１０．計測結果の保存

本サービスは、基本的には、インターネット経由の ASP です。
安全のため、ブラウザ GIS という技術を使用し、ユーザのデータがインターネットを流れない、ユーザデータをサーバに保存しないサービスとなっています。

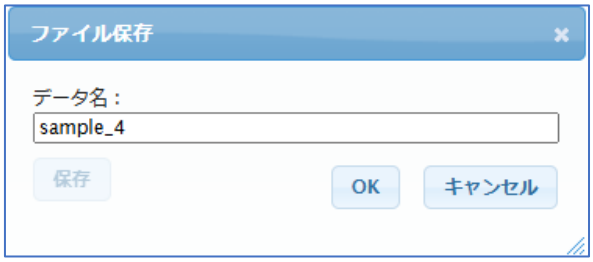
が、計測結果を保存したいという、ユーザ様の要望にお応えし、ローカル（自分の PC）に計測結果を保存できる仕組みを追加しました。
サーバには保存しませんし、インターネット上をユーザデータが流れることもない安全な仕組みです。

１０－１　計測結果の保存

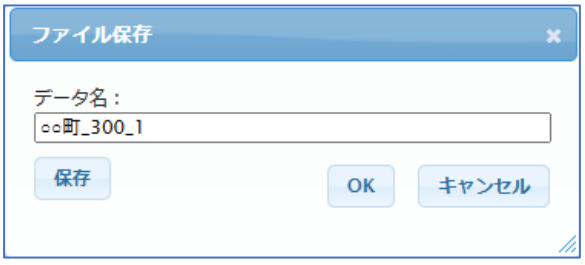
データ管理メニューのファイル保存ボタンで行います。

①　地積測量図等の画像で計測した場合

データ名に、元の画像ファイル名が表示されます。



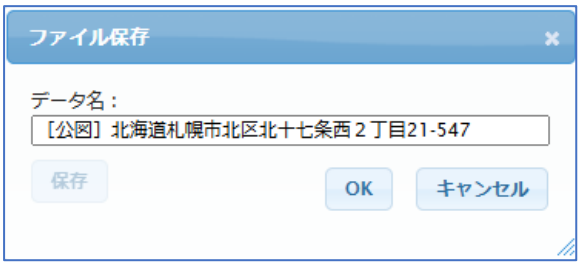
データ名は変更も可能です。OK ボタンをクリックすると、保存ボタンが現れます。
後に検索しやすいデータ名にすることをお勧めします。
例えば下図のように、地番にします。



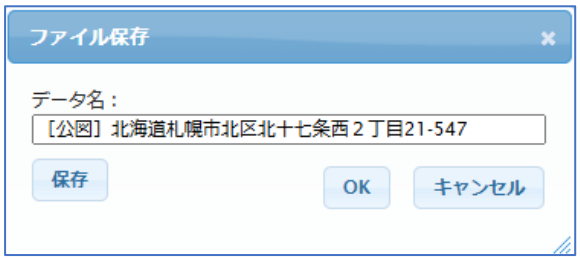
保存ボタンのクリックで、「○○町_300_1.zip」と言うファイル名で保存されます。

② 法務省登記所備付地図データ（平面直角座標）で計測した場合

データ名に、「【公図】地番」のファイル名が表示されます。
今後の検索時に分かりやすいようにこうしています。
変更も可能です。



OK ボタンをクリックすると、保存ボタンが現れます。

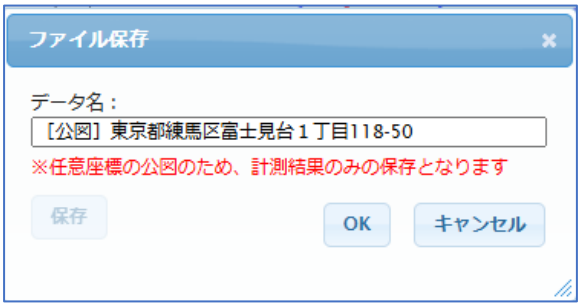


保存ボタンのクリックで、「［公図］北海道札幌市北区北十七条西２丁目 21-547.zip」と言うファイル名で保存されます。

③ 法務省登記所備付地図データ（任意座標）で計測した場合

データ名に、「【公図】地番」のファイル名が表示されます。
今後の検索時に分かりやすいようにこうしています。
変更も可能です。

任意座標の公図の場合、保存後に読み込んだ時、対象筆のみが表示され、周辺の筆は表示されません。



OK ボタンをクリックすると、同様に保存ボタンが現れます。

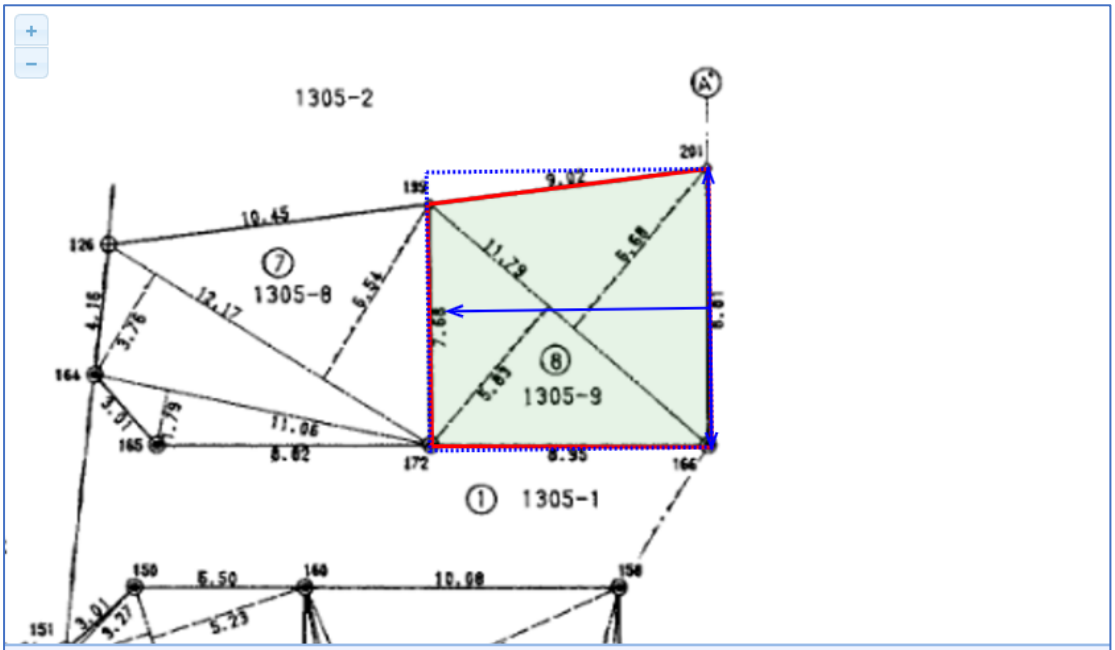
保存ボタンのクリックで、「［公図］東京都練馬区富士見台１丁目 118-50.zip」と言うファイル名で保存されます。

１０－２　計測結果の読込

データ管理メニューのファイル読込ボタンで行います。

① 地積測量図等の画像で計測した場合

ファイル選択で保存したファイル名、ここでは「〇〇町_300_1.zip」を選択し、OK ボタンのクリックで、計測結果が再現されます。

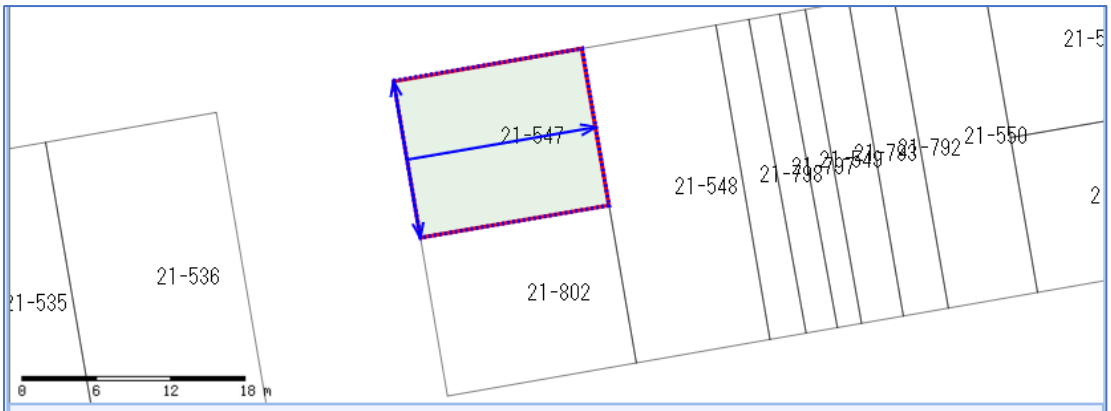


画地座標　画地図　間口：1点　計測　計測条件　クリア　全クリア

無道路	実測			想定			角地	接面方位	陰地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正　面	8.876	8.350	74.114	8.876	8.984	79.741	－	269.29	7.06	0.000
側方１	9.020	8.217	74.114	9.915	8.819	87.446	角	172.79	15.25	－
側方２							角			－
二　方							－			－

② 法務省登記所備付地図データ（平面直角座標）で計測した場合

ファイル選択で保存したファイル名、ここでは「[公図] 北海道札幌市北区北十七条西２丁目 21-547.zip」を選択し、OK ボタンのクリックで、計測結果が再現されます。

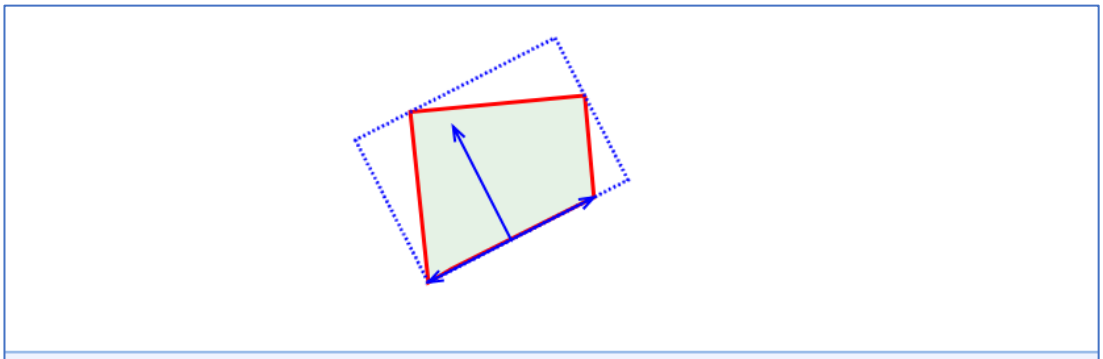


画地座標　画地図　画地選択　間口：1点　計測　計測条件　クリア　全クリア

無道路	実測			想定			角地	接面方位	陰地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正　面	15.399	12.810	197.256	15.442	12.821	197.971	－	170.08	0.36	0.000
側方１	12.779	15.424	197.256	12.830	15.424	197.879	角	80.27	0.31	－
側方２							角			－
二　方							－			－

③　法務省登記所備付地図データ（任意座標）で計測した場合

ファイル選択で保存したファイル名、ここでは「[公図]東京都練馬区富士見台１丁目 118-50.zip」を選択し、OK ボタンのクリックで、計測結果が再現されます。



画地座標　画地図　間口：1点　計測　計測条件　クリア　全クリア

無道路	実測			想定			角地	接面方位	陰地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正　面							－			
側方１	14.939	10.218	152.646	18.005	12.825	230.924	角	332.87	33.90	－
側方２							角			－
二　方							－			－

任意座標の公図の場合、保存後に読み込んだ時、対象筆のみが表示され、周辺の筆は表示されません。

以上